

**大学番号：私153**

注3

[平成24年度設置]

計画の区分：大学設置

注1

**認可**

**横浜創英大学**

注2

## **【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書**

**学校法人堀井学園**

**平成27年5月1日現在**

### 作成担当者

担当部局（課）名 横浜創英大学事務局

職名・氏名 ジチョウ スズキ ナオヨシ  
次長 鈴木 直吉

電話番号 045-922-5641

(夜間) 045-922-5641

FAX 045-922-5642

e-mail swift@soei.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

( )書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学新設の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 □□研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 看護学部

ページ	<看護学科>
1	1. 調査対象大学等の概要等
5	2. 授業科目の概要
22	3. 施設・設備の整備状況、経費
23	4. 既設大学等の状況
24	5. 教員組織の状況
38	6. 留意事項等に対する履行状況等
40	7. その他全般的な事項

## こども教育学部

ページ	<幼児教育学科>
43	1. 調査対象大学等の概要等
47	2. 授業科目の概要
53	3. 施設・設備の整備状況、経費
54	4. 既設大学等の状況
55	5. 教員組織の状況
62	6. 留意事項等に対する履行状況等
67	7. その他全般的な事項

## 1 調査対象大学等の概要等

### (1) 設 置 者

学校法人 堀井学園

### (2) 大 学 名

横浜創英大学

### (3) 大学の位置

〒226-0015

神奈川県横浜市緑区三保町1番地

- (注) ・ 対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。  
・ 対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

### (4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理事長	（ホイリ モトアキ） 堀井 基章 (昭和60年3月)	「該当なし」	
学 長	（コジマ ケンイチ） 小島 謙一 (平成24年4月)	「該当なし」	
看護学部長	（モリタ タカコ） 森田 孝子 (平成24年4月)	「該当なし」	
こども教育 学 部 長	（シゲシタ カズオ） 繁下 和雄 (平成24年4月)	「該当なし」	

- (注) ・ 「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・ 大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ 様式は、平成24年度開設の4年制の学科の場合（平成27年度までの4年間）ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）

(5) -① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の名称（学位）	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
看護学部 看護学科 学士（看護学）	年 4	人 80	人 0	人 320	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員超過率	開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 80	人 （－）	人 80	人 （－）	人 80	人 （－）	人 80	人 （－）	人 80	人 （－）			
志願者数	502 （－） [－]	— （－） [－]	569 （－） [－]	— （－） [－]	544 （－） [－]	— （－） [－]	539 （－） [－]	— （－） [－]					
受験者数	467 （－） [－]	— （－） [－]	548 （－） [－]	— （－） [－]	509 （－） [－]	— （－） [－]	503 （－） [－]	— （－） [－]			1.20倍	一倍	
合格者数	153 （－） [－]	— （－） [－]	176 （－） [－]	— （－） [－]	201 （－） [－]	— （－） [－]	212 （－） [－]	— （－） [－]					
B 入学者数	100 （－） [－]	— （－） [－]	100 （－） [－]	— （－） [－]	98 （－） [－]	— （－） [－]	87 （－） [－]	— （－） [－]					
入学定員超過率 B/A	1.25		1.25		1.22		1.08						

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ））書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「－」を記入してください。
  - ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
  - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
  - ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学（「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学）のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「－」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] ( - ) 100	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) 100	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) 98	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) 87	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	
2年次			[ - ] ( - ) 100	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) 95	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) 97	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	
3年次					[ - ] ( - ) 99	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) 94	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	
4年次							[ - ] ( - ) 98	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	
計	[ - ] ( - ) 100	[ - ] ( - ) 200	[ - ] ( - ) 292	[ - ] ( - ) 376							

- (注) ・ 数字は、平成 27 年 5 月 1 日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。），短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
  - ・ ( ) 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数		
平成24年度 入学者	100 人	2 人	平成24年度	人	人		2.0 %
			平成25年度	1 人	人	除籍(1人)	
			平成26年度	1 人	人	他の教育機関への入学・転学(1人)	
			平成27年度	人	人		
平成25年度 入学者	100 人	6 人	平成25年度	4 人	人	他の教育機関への入学・転学(2人)、就職(2人)	6.0 %
			平成26年度	2 人	人	就職(2人)	
			平成27年度	人	人		
平成26年度 入学者	98 人	1 人	平成26年度	1 人	人	就学意欲の低下(1人)	1.0 %
			平成27年度	人	人		
平成27年度 入学者	87 人	0 人	平成27年度	人	人		0.0 %
合 計	385 人	9 人					2.3 %

(注)・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下　　・学力不足　　・他の教育機関への入学・転学　　・海外留学  
 ・就職　　・学生個人の心身に関する事情　　・家庭の事情　　・除籍　　・その他

## 2 授業科目的概要

<看護学部 看護学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
サイエンス・リテラシー	大学で学ぶとは（含建学の精神）	1前	1			1					兼1	担当教員の追加 (25) 中川ひろみ (講師) 平成25年1月 教員審査済 判定 可 講師中川ひろみ27年度就任辞退により教員を変更 (27) 担当 従山定美 (講師) 平成27年3月 教員審査提出 判定 未定
	サイエンスの考え方	1前	1		1						兼6	
	サイエンスの観察技法	1前			1						兼6	
	サイエンスの応用	1後		1							兼5	
	サイエンスのレポート技法（読み方と書き方）	1前	1								兼6	
	コンピュータリテラシー1 （ワードとエクセル）	1前	1								兼2	
	コンピュータリテラシー2 （パワーポイントとプレゼンテーション）	1後		1							兼3	
	コンピュータリテラシー3 （画像と動画）	1・2・3・4後		1			1		1	4	兼3	
	医療リテラシー	1・2・3・4後		1								
	環境リテラシー	1・2・3・4前		1							兼1	
教養教育	情報リテラシー	1後	1								兼1	担当 中川ひろみ (講師) 平成25年1月 教員審査済 判定 可 講師中川ひろみ27年度就任辞退により教員を変更 (27) 担当 従山定美 (講師) 平成27年3月 教員審査提出 判定 未定
	統計と分析	1後	1								兼1	
	経営情報論（ITと社会・経営）	1・2・3・4後		1							兼1	
	癒しと心	1・2後	1								兼1	
分野・自然と心	感性と人間性	1・2後		1							兼1	担当 石田貞代 (教授) 平成27年1月 教員審査済 判定 可 准教授柴田文子27年度就任辞退により教員を変更 (27) 担当 及川裕子 (教授) 平成27年3月 教員審査提出 判定 未
	倫理と道徳	1後	1								兼1	
	コミュニケーション論	1前	1								兼1	
	ジェンダー論	1・2・3・4後		1							兼2	
	教育臨床心理学	1後		1							兼1	
	教育論	1・2・3・4後		1							兼1	
	家族社会論	1・2・3・4前		1							兼1	
	芸術論	1・2・3・4前		1							兼1	
	日本文化論	1・2・3・4前		1							兼1	
	異文化論	1・2・3・4後		1							兼1	
ヒューマン・リテラシー	人間発達論	1前	1			4	3	-1			兼1	オムニバス 教授久保恭子27年度就任辞退により教員を変更 (27) 担当 石田貞代 (教授) 平成27年1月 教員審査済 判定 可 准教授柴田文子27年度就任辞退により教員を変更 (27) 担当 及川裕子 (教授) 平成27年3月 教員審査提出 判定 未
	生活と法律（含日本国憲法）	1後		2							兼1	
	文章論	1後		1							兼1	
	健康・スポーツ論	1前		1							兼1	
	健康・スポーツ（演習）	1前	1								兼1	
	英語 I	1前	1								兼2	
	英語 II	1後	1								兼2	
	英語 III	2前		1							兼1	
	中国語 I	1・2・3・4前		1							兼1	
	中国語 II	1・2・3・4後		1							兼1	
	韓国語	1・2・3・4前		1							兼1	

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		
専門基礎分野	看護の対象の理解	知的探求入門	1通年		2		4 —6— —4—			兼3	24年度は、着任している3人で指導。 教授土屋八千代就任辞退により教員を変更（25）
											担当 門川由紀江（教授） 平成25年1月 教員審査済 判定 可
		人の形態と生活・機能Ⅰ 人の形態と生活・機能Ⅱ 人の形態と生活・機能Ⅲ 人の形態と生活・機能Ⅳ 人体の機能と構造学演習 病理学 生命倫理 精神保健論 栄養学Ⅰ 栄養学Ⅱ 生化学	1前 1前 1後 1後 2前 1後 1後 2前 1後 2前 1前	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1				兼2 兼2 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	担当 河原智江（教授） 平成25年1月 教員審査済 判定 可	
										担当 山崎章恵（教授） 平成25年1月 教員審査済 判定 可	
										教授久保恭子27年度就任辞退により教員を変更（27）	
										担当 石田貞代（教授） 平成27年1月 教員審査済 判定 可	
										教授河原智江27年度就任辞退により教員を変更（27）	
										担当 及川裕子（教授） 平成27年3月 教員審査提出 判定 未	
										教授山崎章恵27年度就任辞退により教員を変更（27）	
										教授久保恭子27年度就任辞退により教員を変更（27）	
										教授山崎章恵27年度就任辞退により教員を変更（27）	
										教授久保恭子27年度就任辞退により教員を変更（27）	
回の復成支援立ちどき	微生物学 臨床薬理学 臨床心理学 症候論Ⅰ 症候論Ⅱ 症候論Ⅲ 症候論Ⅳ	1前 3前 2後 2前 2前 2後 2後	1 1 1 1 1 1 1						兼1		
健康生活への支援	公衆衛生学 疫学 保健統計学 社会保障行政論Ⅰ 社会保障行政論Ⅱ 保健医療福祉行政論Ⅰ 保健医療福祉行政論Ⅱ 医療情報学 医療情報学演習 医療管理学	2前 2前 2前 2後	1 2 2 1				1 1 1 1		兼1	教授河原智江27年度就任辞退により教員を変更（27）	
		3前 3前 3前	1 1 1				1 2 1 1		兼1	兼任講師川名ヤヨ子で対応	

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
専門分野 看護の基礎	看護学概論	1前	2			2 4				担当教員の追加 (27)
	看護学援助論 I	1前	2			2 1	1	1 2	2 1	担当 本江朝美 (教授) 平成27年1月 教員審査済 判定 可
										講師吉川奈緒美就任辞退により教員を変更(27)
										担当 鈴木恵 (助教) 平成26年7月 教員審査済 判定 可
										担当 本江朝美 (教授) 平成27年1月 教員審査済 判定 可
	看護学援助論 II	1後	1			2 4	1	1 2	2 4	講師中島正世27年度就任辞退により教員を変更 (27)
										担当 鈴木恵 (助教) 平成26年7月 教員審査済 判定 可
										担当 本江朝美 (教授) 平成27年1月 教員審査済 判定 可
	看護学援助論 III	2前	1			2 4	1	1 2	2 4	講師吉川奈緒美就任辞退により教員を変更 (27)
										担当 鈴木恵 (助教) 平成26年7月 教員審査済 判定 可
										担当 本江朝美 (教授) 平成27年1月 教員審査済 判定 可
	看護学援助論 IV	2前	1			2 1	1	1 2	2 1	講師中島正世27年度就任辞退により教員を変更 (27)
										担当 鈴木恵 (助教) 平成26年7月 教員審査済 判定 可
										担当 本江朝美 (教授) 平成27年1月 教員審査済 判定 可
	看護学方法論 I	2前	1			2 4	1	1 2	2 4	講師吉川奈緒美就任辞退により教員を変更 (27)
										担当 鈴木恵 (助教) 平成26年7月 教員審査済 判定 可
										担当 本江朝美 (教授) 平成27年1月 教員審査済 判定 可
	看護学方法論 II	2前	1			2 4	1	1 2	2 4	講師中島正世27年度就任辞退により教員を変更 (27)
										担当 鈴木恵 (助教) 平成26年7月 教員審査済 判定 可
										担当 本江朝美 (教授) 平成27年1月 教員審査済 判定 可

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		
専門分野 看護の基礎	基礎看護学実習 I	1後	1			6 5	1	2 6 7	10 9 8	1 3 2 4	講師松本幸枝、助教西田幸典就任辞退により教員を変更(24)  担当 藤村朗子（講師） 平成24年7月 教員審査済 判定 可 担当 中村美幸（助教） 平成24年7月 教員審査済 判定 可 教育課程の充実を図るため担当教員の追加(25)  担当 橋本真由美（講師） 平成25年1月 教員審査済 判定 可 担当 岡部春香（講師） 平成25年1月 教員審査済 判定 可 講師吉川奈緒美、助教中村美幸就任辞退により教員を変更(27)  担当 金子直美（助教） 平成26年7月 教員審査済 判定 可 担当 若林和枝（助教） 平成26年7月 教員審査済 判定 可 担当教員の追加 (27)  担当 本江朝美（教授） 平成27年1月 教員審査済 判定 可 教授久保恭子27年度就任辞退により担当教員の追加を変更に訂正(27) 講師石館美弥子27年度就任辞退により担当教員を変更(27) 講師藤村朗子27年度就任辞退により担当教員の変更(27) 講師中島正27年度就任辞退により担当教員を変更(27) 担当 達田幸子（助教） 平成27年3月 教員審査提出 判定 未  担当 永田智子（助教） 平成27年3月 教員審査提出 判定 未  担当 佐藤和子（助教） 平成27年3月 教員審査提出 判定 未 教授門川由紀江27年度就任辞退により教員を変更(27) 教授河原智江27年度就任辞退により教員を変更(27) 講師岡部春香27年度就任辞退により教員を変更(27) 助教宍戸路佳27年度就任辞退により教員を変更(27) 助教塚本都子27年度就任辞退により教員を変更(27)
	基礎看護学実習 II	2後	2			2 4	1	1 4 5 2 4	6 3 2 4	3 4	講師松本幸枝就任辞退により教員を変更(24)  担当 藤村朗子（講師） 平成24年7月 教員審査済 判定 可 教育課程の充実を図るため担当教員の追加(25)  担当 中村美幸（助教） 平成24年7月 教員審査済 判定 可 担当 岡部春香（講師） 平成25年1月 教員審査済 判定 可 講師吉川奈緒美、助教中村美幸就任辞退により教員を変更(27)  担当 金子直美（助教） 平成26年7月 教員審査済 判定 可 担当 若林和枝（助教） 平成26年7月 教員審査済 判定 可 担当教員の追加 (27)  担当 本江朝美（教授） 平成27年1月 教員審査済 判定 可 講師中島正27年度就任辞退により教員を変更(27) 講師藤村朗子27年度就任辞退により教員を変更(27) 講師岡部春香27年度就任辞退により教員を変更(27) 助教宍戸路佳27年度就任辞退により教員を変更(27) 助教塚本都子27年度就任辞退により教員を変更(27) 担当 達田幸子（助教） 平成27年3月 教員審査提出 判定 未  担当 永田智子（助教） 平成27年3月 教員審査提出 判定 未  担当 佐藤和子（助教） 平成27年3月 教員審査提出 判定 未

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
専門分野 発達段階の看護	成人看護学概論	2前	2			1 2				兼任1 教授土屋八千代就任辞退により教員を変更(25)  担当 山崎章恵(教授) 平成25年1月 教員審査済 判定 可  教授山崎章恵平成27年度就任辞退(27) 兼任講師として山崎章恵就任
	成人看護学方法論 I	2後	1			1 2 1	4	2 2 1		講師松本幸枝就任辞退により教員を変更(24) 准教授石井美恵子就任辞退により教員を変更(25)  担当 藤村朗子(講師) 平成24年7月 教員審査済 判定 可  担当 橋本真由美(講師) 平成25年1月 教員審査済 判定 可  教育課程の充実を図るため担当教員の追加(26)  担当 山崎章恵(教授) 平成25年9月 教員審査済 判定 可  講師藤村朗子27年度就任辞退により教員を変更(27) 担当 稲山直美(講師) 平成27年3月 教員審査提出 判定 未定  教授山崎章恵27年度就任辞退により後任補充予定(27)
	成人看護学方法論 II	2後	1			1 4		2 2 1	4	講師松本幸枝就任辞退により教員を変更(24) 教授土屋八千代就任辞退により教員を変更(25)  担当 藤村朗子(講師) 平成24年7月 教員審査済 判定 可  担当 岡部春香(講師) 平成25年1月 教員審査済 判定 可  教育課程の充実を図るため担当教員の追加(25)  担当 中村美幸(助教) 平成25年1月 教員審査済 判定 可  助教中村美幸就任辞退により担当教員で分担して教育を行う(26)  教育課程の充実を図るため担当教員の追加(26)  担当 森田孝子(教授) 平成25年9月 教員審査済 判定 可  講師藤村朗子27年度就任辞退により教員を変更(27) 後任未定補充予定  講師岡部春香27年度就任辞退により教員を変更(27) 担当 稲山直美(講師) 平成27年3月 教員審査提出 判定 未

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
専門分野 発達段階の看護	成人看護学方法論III	3前	1			1 2 4	2 4	3 4		兼任2  講師松本幸枝就任辞退により教員を変更(24) 准教授石井美恵子就任辞退により教員を変更(25)  担当 藤村朗子(講師) 平成24年7月 教員審査済 判定 可  担当 岡部春香(講師) 平成25年1月 教員審査済 判定 可  教育課程の充実を図るため担当教員の追加(25)  担当 橋本真由美(講師) 平成25年1月 教員審査済 判定 可  教育課程の充実を図るため担当教員の追加(26)  担当 山崎章恵(教授) 平成25年9月 教員審査済 判定 可  講師藤村朗子27年度就任辞退により教員を変更(27) 藤村朗子兼任講師として対応(27)  講師岡部春香27年度就任辞退により教員を変更(27) 担当 繼山直美(講師) 平成27年3月 教員審査提出 判定 未定  教授山崎章恵27年度就任辞退により教員を変更(27) 山崎章恵兼任講師として対応(27)  講師松本幸枝、助教西田幸典就任辞退により教員を変更(24) 教授土屋八千代就任辞退により教員を変更(25)  担当 藤村朗子(講師) 平成24年7月 教員審査済 判定 可  担当 中村美幸(助教) 平成24年7月 教員審査済 判定 可  担当 岡部春香(講師) 平成25年1月 教員審査済 判定 可  担当 山崎章恵(教授) 平成25年1月 教員審査済 判定 不可  前回の判定結果(不可)を受けての再審査(26)  担当 山崎章恵(教授) 平成25年9月 教員審査済 判定 可 助教中村美幸就任辞退により担当教員で分担して教育を行う(26)  講師藤村朗子27年度就任辞退により後任未定補充予定(27)  講師岡部春香27年度就任辞退により教員を変更(27) 担当 繼山直美(講師) 平成27年3月 教員審査提出 判定 未定  教授山崎章恵27年度就任辞退により後任未定補充予定(27)
	成人看護学方法論IV	3後	1			1 2 4	2 4	3 4		

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
専門分野 発達段階の看護	成人看護学実習・急性期	4前	3			1 2 4	2 4	1	4 1	講師松本幸枝、助教西田幸典就任辞退により教員を変更(24) 准教授石井美恵子就任辞退により教員を変更(25) 担当 藤村朗子（講師） 平成24年7月 教員審査済 判定 可 担当 岡部春香（講師） 平成25年1月 教員審査済 判定 可 担当 橋本真由美（講師） 平成25年1月 教員審査済 判定 可 教育課程の充実を図るため担当教員の追加(25) 担当 山崎章恵（教授） 平成25年1月 教員審査済 判定 可 担当 中川ひろみ（講師） 平成25年1月 教員審査済 判定 可 助教の後任は、25年度採用予定(24) 助教の後任は、24年度講師採用(25)
	成人看護学実習・慢性期	3後	3			1 2 4	2 3 2	1 4	3 4	講師岡部春香27年度就任辞退により教員を変更(27) 担当 従山直美（講師） 平成27年3月 教員審査提出 判定 未定  教授山崎章恵27年度就任辞退により後任補充予定(27) 講師藤村朗子27年度就任辞退により後任補充予定(27) 講師中川ひろみ27年度就任辞退により後任補充予定(27)
	高齢者看護学概論	2前	1			1				助教中村美幸就任辞退により担当教員で分担して教育を行う(26)  担当 藤村朗子（講師） 平成24年7月 教員審査済 判定 可 担当 中村美幸（助教） 平成24年7月 教員審査済 判定 可 担当 岡部春香（講師） 平成25年1月 教員審査済 判定 可 担当 山崎章恵（教授） 平成25年1月 教員審査済 判定 不可  教育課程の充実を図るため担当教員の追加(26) 担当 森田孝子（教授） 平成25年9月 教員審査済 判定 可  前回の判定結果（不可）を受けての再審査(26) 担当 山崎章恵（教授） 平成25年9月 教員審査済 判定 可 助教中村美幸就任辞退により担当教員で分担して教育を行う(26)  講師藤村朗子27年度就任辞退により教員を変更(27)  講師岡部春香27年度就任辞退により教員を変更(27) 担当 従山直美（講師） 平成27年3月 教員審査提出 判定 未  担当 佐藤和子（助教） 平成27年3月 教員審査提出 判定 未  教授山崎章恵27年度就任辞退により後任補充予定(27)

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
専門分野 発達段階の看護	高齢者看護学方法論Ⅰ	2後	2			1			2 -2 4	採用予定人数の充足(24)  担当 中村美幸(助教) 平成24年7月 教員審査済 判定 可  助教中村美幸就任辞退により教員を変更(26)  担当 金子直美(助教) 平成26年7月 教員審査済 判定 可  担当 若林和枝(助教) 平成26年7月 教員審査済 判定 可  助教塚本都子27年度就任辞退により教員を変更(27)
	高齢者看護学方法論Ⅱ	3前	1			1			2 -3 2	助教中村美幸就任辞退により教員を変更(26)  担当 金子直美(助教) 平成26年7月 教員審査済 判定 可  担当 若林和枝(助教) 平成26年7月 教員審査済 判定 可  助教塚本都子27年度就任辞退により教員を変更(27)
	高齢者看護学実習Ⅰ	2後	2			1			5 -6 5 3	助教中村美幸就任辞退により教員を変更(26)  担当 金子直美(助教) 平成26年7月 教員審査済 判定 可  担当 若林和枝(助教) 平成26年7月 教員審査提出済 判定 可  助教塚本都子27年度就任辞退により教員を変更(27)
	高齢者看護学実習Ⅱ	4前	2			1			2 -3 2 4 3 3	助教西田幸典就任辞退により教員を変更(24)  担当 中村美幸(助教) 平成24年7月 教員審査済 判定 可  助教中村美幸就任辞退により教員を変更(26)  担当 金子直美(助教) 平成26年7月 教員審査済 判定 可  担当 若林和枝(助教) 平成26年7月 教員審査提出済 判定 可  助教塚本都子27年度就任辞退により教員を変更(27)
	小児看護学概論	2前	2			1 +1				教授久保恭子27年度就任辞退により教員を変更(27)  担当 及川裕子(教授) 平成27年3月 教員審査提出 判定 未
	小児看護学方法論Ⅰ	3前	1			1 +4		4	2	教授久保恭子27年度就任辞退により教員を変更(27)  担当 及川裕子(教授) 平成27年3月 教員審査提出 判定 未  講師石館美弥子27年度就任辞退により教員を変更(27) 担当 山下麻実(助教) 平成27年3月 教員審査提出 判定 未 教員の追加 担当 佐藤和子(助教) 平成27年3月 教員審査提出 判定 未
	小児看護学方法論Ⅱ	3後	1			1 +1		1	2 4	教授久保恭子27年度就任辞退により教員を変更(27)  担当 及川裕子(教授) 平成27年3月 教員審査提出 判定 未  講師石館美弥子27年度就任辞退により教員を変更(27) 担当 佐藤和子(助教) 平成27年3月 教員審査提出 判定 未

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		
専門分野 発達段階の看護	母性看護学概論	小児看護学実習Ⅰ	2後	1		1 1	4	1 2	3 2	4	教授久保恭子27年度就任辞退により教員を変更(27)  担当 石田貞代(教授) 平成27年1月 教員審査済 判定 不可  担当 及川裕子(教授) 平成27年3月 教員審査提出 判定 未  准教授柴田文子27年度就任辞退(27)  助教宍戸路佳27年度就任辞退により教員を変更(27) 講師石館美弥子27年度就任辞退により教員を変更(27) 担当 永田智子(助教) 平成27年3月 教員審査提出 判定 未定  担当 佐藤和子(助教) 平成27年3月 教員審査提出 判定 未定  教授久保恭子27年度就任辞退により教員を変更(27)
		小児看護学実習Ⅱ	4前	1		1 1	4	1 2	3 2	4	教授久保恭子27年度就任辞退により教員を変更(27)  担当 石田貞代(教授) 平成27年1月 教員審査済 判定 不可  担当 及川裕子(教授) 平成27年3月 教員審査提出 判定 未  助教宍戸路佳27年度就任辞退により教員を変更(27) 講師石館美弥子27年度就任辞退により教員を変更(27) 担当 永田智子(助教) 平成27年3月 教員審査提出 判定 未  担当 佐藤和子(助教) 平成27年3月 教員審査提出 判定 未
	母性看護学方法論	母性看護学方法論Ⅰ	2前	2		1	4			兼任	担当教員の追加(27)  担当 石田貞代(教授) 平成27年1月 教員審査済 判定 可  准教授柴田文子27年度就任辞退により教員の追加を変更に修正(27) 担当教員の追加(27)
		母性看護学方法論Ⅱ	2後	1		1	4	1	1		准教授柴田文子27年度就任辞退により教員の追加を変更に修正(27) 担当 石田貞代(教授) 平成27年1月 教員審査済 判定 可  准教授柴田文子27年度就任辞退により教員の追加を変更に修正(27) 担当 永田智子(助教) 平成27年3月 教員審査提出 判定 未 担当教員の追加(27)
	母性看護学実習	母性看護学実習	3前	1		1	4	1	1		准教授柴田文子27年度就任辞退により教員の追加を変更に修正(27) 担当 永田智子(助教) 平成27年3月 教員審査提出 判定 未  教授久保恭子27年度就任辞退により教員を変更(27)
	母性看護学実習	母性看護学実習	3後	2		1 1	4	1 2	2 2	4	准教授柴田文子27年度就任辞退により教員を変更(27) 担当 永田智子(助教) 平成27年3月 教員審査提出 判定 未  講師石館美弥子27年度就任辞退により教員の補充を検討(27) 助教宍戸路佳27年度就任辞退により教員を変更(27)

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		
専門分野 生活の中の看護	精神看護学概論	2前	1				1	4		兼1	担当教員の職位変更(25) 担当 江藤和子(准教授) 平成25年1月 教員審査済 判定 可
	精神看護学方法論Ⅰ	2後	1				1	4	1		担当教員の職位変更(25) 担当 江藤和子(准教授) 平成25年1月 教員審査済 判定 可
	精神看護学方法論Ⅱ	3前	1				1	4	1		担当教員の職位変更(25) 担当 江藤和子(准教授) 平成25年1月 教員審査済 判定 可
	精神看護学実習	3後	2				1	4	2	兼2	担当教員の職位変更(25) 担当 江藤和子(准教授) 平成25年1月 教員審査済 判定 可
	在宅看護概論	2後	1			4	1				教授河原智江27年度就任辞退により教員を変更(27) 担当 柴田恵子(准教授) 平成27年3月 教員審査提出 判定 未
	在宅看護方法論Ⅰ	3前	1			4		4	1	兼2	教授河原智江27年度就任辞退により教員を変更 兼任講師で対応予定(27) 講師戸塚智美江27年度就任辞退により教員を変更非常勤で 対応予定(27)
	在宅看護方法論Ⅱ	3後	1			4		4		兼1	教授河原智江27年度就任辞退により兼任講師宗啓子が担当 する(27) 講師戸塚智美江27年度就任辞退により教員の補充を検討 (27)
	在宅看護実習	4前	2			4	4	4	3	兼1	担当教員の職位変更(25) 担当 江藤和子(准教授) 平成25年1月 教員審査済 判定 不可 審査済の教授1、准教授1、講師1、助教3で不可の対応を する。(25) 教授河原智江27年度就任辞退により教員の補充を検討。後 任未定(27) 准教授井上真弓27年度就任辞退により教員の補充を検討。 後任未定(27) 講師戸塚智美27年度就任辞退により教員の補充(27) 兼任講師宗啓子が担当する(27)
	家族看護論Ⅰ	3前	1			1					
	家族看護論Ⅱ	3後		1		1			1		
	認知症看護論	3後		1		1					
	リハビリテーション看護論	3前	1							兼2	
	公衆衛生看護学概論	2前	2			4	1				教授門川由紀江27年度就任辞退により教員を変更(27) 担当 柴田恵子(准教授) 平成27年3月 教員審査提出 判定 未
	公衆衛生看護学Ⅰ	2後		1			1	4			准教授井上真弓27年度就任辞退により教員を変更(27) 担当 柴田恵子(准教授) 平成27年3月 教員審査提出 判定 未
	公衆衛生看護学Ⅱ	3前		1		4	1	4	1	兼1	准教授井上真弓27年度就任辞退により教員を変更(27) 兼任講師井上真弓として担当(27) 教授門川由紀江27年度就任辞退により教員の補充を検討 (27) 担当 柴田恵子(准教授) 平成27年3月 教員審査提出 判定 未
	公衆衛生看護学Ⅲ	3後		1		4	1				教授門川由紀江27年度就任辞退により教員を変更(27) 担当 柴田恵子(准教授) 平成27年3月 教員審査提出 判定 未
	産業保健活動論	3後		1						兼2	
	学校保健論	3後		2						兼1	オムニバス

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		
専門分野  生活の中の看護	公衆衛生看護学実習	3・4後		5		2 4	1 4	4	3 4	兼1	教授門川由紀江27年度就任辞退により教員を変更(27)  教授河原智江27年度就任辞退により教員を変更(27)  准教授井上真弓27年度就任辞退により教員を変更(27)  講師戸塚智美27年度就任辞退により教員を変更(27)  担当 柴田恵子(准教授) 平成27年3月 教員審査提出 判定 未 担当 辻田幸子(助教) 平成27年3月 教員審査提出 判定 未 担当 永田智子(助教) 平成27年3月 教員審査提出 判定 未 兼任講師川名ヤヨ子が担当する(27)
	国際看護論	3後		1		2 4	4			兼1	准教授石井美恵子就任辞退により教員を変更(25)  担当 山崎章恵(教授) 平成25年1月 教員審査済 判定 可 教授山崎章恵27年度就任辞退により教員の変更を検討(27) 教授久保恭子27年度就任辞退により教員の変更を検討(27) 兼任講師担当の予定(27)
社会の二つにこたえる看護  看護の統合	看護とコミュニケーション	1後	1			2 4	1	4	1 4		大学設置留意事項により教員を追加(23)  担当 塚本都子(助教) 平成24年2月 教員審査 判定 可 担当教員の職位変更(25) 担当 江藤和子(准教授) 平成25年1月 教員審査済 判定 可 担当教員の追加(27)  担当 本江朝美(教授) 平成27年1月 教員審査済 判定 可 助教塚本都子27年度就任辞退により教員を変更(26)  担当 辻田幸子(助教) 平成27年3月 教員審査提出 判定 未
	がん看護	3前	1			4		4		兼1	教授土屋八千代就任辞退により教員を変更(25)  担当 山崎章恵(教授) 平成25年1月 教員審査済 判定 可 教育課程の充実を図るため担当教員の追加(25)  担当 藤村朗子(講師) 平成25年1月 教員審査済 判定 可 教授山崎章恵27年度就任辞退により教員の変更(27) 兼任講師山崎章恵として担当(27) 講師藤村朗子27年度就任辞退により教員の変更を検討(27)
	ターミナルケア論	3前	1			2 3		2 4			教授土屋八千代就任辞退により教員を変更(25)  担当 藤村朗子(講師) 平成24年7月 教員審査済 判定 可 講師藤村朗子27年度就任辞退により教員の変更。後任未定(27) 講師戸塚智美27年度就任辞退により教員の変更。後任未定(27)

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
社会のニーズにこたえる看護の統合	救急・災害看護学	3後	1			4	2 2 4			講師松本幸枝就任辞退により教員を変更(24) 准教授石井美恵子就任辞退により教員を変更(25)
	先端医療と看護	3後	1			1	1 4			担当 藤村朗子(講師) 平成24年7月 教員審査済 判定 可 担当 橋本真由美(講師) 平成25年1月 教員審査済 判定 可  講師藤村朗子27年度就任辞退により教員の変更(27)
	チーム医療論	3後	1			1	1 1 4			兼任1 講師松本幸枝就任辞退により教員を変更(24)  担当 藤村朗子(講師) 平成24年7月 教員審査済 判定 不可 兼任補充可の判定のため、開講時までに教員補充する。 (25) 兼任講師松本幸枝が科目担当(26)  担当教員の追加(27) 担当 横山定美(講師) 平成27年3月 教員審査提出 判定 未
	看護と環境	2後	1			4 3 4	1	4		教員を追加(24)  担当 中川ひろみ(講師) 平成25年1月 教員審査済 判定 可  講師中川ひろみ27年度就任辞退により教員の変更(27)
	看護倫理・法	3前	1			1 2				教授土屋八千代、准教授石井美恵子就任辞退により教員を変更(25)  担当教員の職位変更(25) 担当 江藤和子(准教授) 平成25年1月 教員審査済 判定 可  開講時までに兼任講師で手当てる。(25) 開講時までに専任で補充する(26)  担当 森田孝子(教授) 平成25年9月 教員審査済 判定 可  教授久保恭子27年度就任辞退により教員を変更(27)
	看護管理学Ⅰ	3前	1			1				担当 石田貞代(教授) 平成27年1月 教員審査済 判定 可  教授河原智江27年度就任辞退により教員を変更(26)
	看護管理学Ⅱ	3後	1			1				担当 及川裕子(教授) 平成27年3月 教員審査提出 判定 未
	看護情報学	2前	1			2				教授土屋八千代就任辞退により 開講時までに教員を手当てる。(25)  担当 中川ひろみ(講師) 平成25年1月 教員審査済 判定 不可  教授土屋八千代就任辞退の部分をオムニバス方式の別の教員が肩代わりし、全体を一人で行う(26)
	地域保健医療福祉連携論	3後	1			2 3				兼任2 オムニバス 兼任1 オムニバス 教授河原智江27年度就任辞退により教員を変更(27) 兼任講師川名雅子が担当する(27)

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
看護の統合 社会のニーズにこたえる看護	医療安全学	3前	1			1		1		教授土屋八千代就任辞退により教員を変更(25)  担当 橋本真由美(講師) 平成25年1月 教員審査済 判定 可
	看護教育学	4前		1		1				
	感染看護学	2前	1			4	4	4		兼任  大学設置留意事項により教員を追加(23) 准教授石井美恵子就任辞退により教員を変更(25)  担当 山崎章恵(教授) 平成25年1月 教員審査済 判定 可  担当 中川ひろみ(講師) 平成25年1月 教員審査済 判定 可  教授山崎章恵27年度就任辞退により兼任教員を補充(27)
	癒しのケア論	4後		1		1	4			兼任  講師中川ひろみ27年度就任辞退により兼任教員として変更(27)  教授土屋八千代就任辞退により 開講時までに教員を手当する。(25)  教員欠員の補充(27)  担当 本江朝美(教授) 平成27年1月 教員審査済 判定 可
	専門職論	4後		1		1		1	2	講師松本幸枝就任辞退により教員を変更(24) 准教授石井美恵子就任辞退により教員を変更(25)  担当 藤村朗子(講師) 平成24年7月 教員審査済 判定 可  担当 中川ひろみ(講師) 平成25年1月 教員審査済 判定 可  講師藤村朗子27年度就任辞退により教員を変更(27) 講師中川ひとみ27年度就任辞退により教員を変更(27)  担当 横山定美(講師) 平成27年3月 教員審査提出 判定 未
	看護研究	2後	1			2	4	3		教授土屋八千代就任辞退により教員を変更(25)  担当 山崎章恵(教授) 平成25年1月 教員審査済 判定 可  教授久保恭子27年度就任辞退により教員を変更(27)  担当 石田貞代(教授) 平成27年1月 教員審査済 判定 可  担当教員の追加(27)  担当 本江朝美(教授) 平成27年1月 教員審査済 判定 可  教授山崎章恵27年度就任辞退により担当教員の追加を変更に訂正(27)  教授河原智江27年度就任辞退により教員の補充を検討(27)

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
看護の統合 社会のニーズにこたえる看護	ゼミナール	3~4通年	3			7 9 8	3 4	4 9 10 8		兼任3  講師松本幸枝就任辞退により教員を変更(24) 教授土屋八千代、准教授石井美恵子就任辞退により教員を変更(25)  担当 藤村朗子(講師) 平成24年7月 教員審査済 判定 可  担当 山崎章恵(教授) 平成25年1月 教員審査済 判定 可  担当 中川ひろみ(講師) 平成25年1月 教員審査済 判定 可  担当教員の職位変更(25) 担当 江藤和子(准教授) 平成25年1月 教員審査済 判定 可  教育課程の充実を図るため担当教員の追加(25)  担当 橋本真由美(講師) 平成25年1月 教員審査済 判定 可 担当 岡部春香(講師) 平成25年1月 教員審査済 判定 可  講師吉川奈緒美就任辞退により担当教員で分担して教育する(26)  教授久保恭子27年度就任辞退により教員を変更(27)  担当 石田貞代(教授) 平成27年1月 教員審査済 判定 可  担当教員の追加(27)  担当 本江朝美(教授) 平成27年1月 教員審査済 判定 可  教授山崎章恵27年度就任辞退により担当教員の追加を教員の変更に訂正する(27) 兼任講師山崎章恵として担当する  教授河原智江27年度就任辞退により教員を変更(27)  教授門川由紀江27年度就任辞退により教員を変更(27)  准教授井上真弓27年度就任辞退により教員を変更(27) 兼任講師井上真弓として担当する(27)  講師藤村朗子27年度就任辞退により教員を変更(27) 兼任講師藤村朗子として担当する(27)  担当 及川裕子(教授) 平成27年3月 教員審査提出 判定 未  担当 柴田恵子(准教授) 平成27年3月 教員審査提出 判定 未  担当 総山定美(講師) 平成27年3月 教員審査提出 判定 未  講師岡部春香27年度就任辞退により教員を変更(27) 講師中島正世27年度就任辞退により教員を変更(27) 講師中川ひろみ27年度就任辞退により教員を変更(27) 講師戸塚智美27年度就任辞退により教員を変更(27) 講師石館美弥子27年度就任辞退により教員を変更(27)  准教授柴田文子27年度就任辞退により教員を変更(27)

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		
看護の統合 社会のニーズにこたえる看護	統合実習	4後	2			7 6	2 3	4 8 9 7	8 7 6	3 4	講師吉川奈緒美、助教中村美幸就任辞退により教員を変更(26)  担当 金子直美（助教） 平成26年7月 教員審査済 判定 可  担当 若林和枝（助教） 平成26年7月 教員審査提出済 判定 可  教授久保恭子27年度就任辞退により教員を変更(27)  担当 石田貞代（教授） 平成27年1月 教員審査済 判定 可  担当 本江朝美（教授） 平成27年1月 教員審査済 判定 可  教授山崎章恵27年度就任辞退により担当教員の追加を教員の変更に訂正する(27)  准教授柴田文子27年度就任辞退により教員を変更(27) 担当 及川裕子（教授） 平成27年3月 教員審査提出 判定 未  講師中川ひろみ27年度就任辞退により教員を変更(27) 担当 徳山定美（講師） 平成27年3月 教員審査提出 判定 未  講師中島正世27年度就任辞退により教員を変更(27) 担当 辻田幸子（助教） 平成27年3月 教員審査提出 判定 未  講師藤村朗子27年度就任辞退により教員を変更(27) 担当 永田智子（助教） 平成27年3月 教員審査提出 判定 未  講師石館美弥子27年度就任辞退により教員を変更(27) 担当 佐藤和子（助教） 平成27年3月 教員審査提出 判定 未  講師岡部春香27年度就任辞退により教員を変更(27) 助教宍戸路佳27年度就任辞退により教員を変更(27) 助教塚本都子27年度就任辞退により教員を変更(27)
教職科目 養護教諭課程	児童精神医学（養護教諭） 養護概説 健康相談活動及び方法 教職論（養護教諭） 教育原理（養護教諭） 発達心理学（養護教諭） 教育社会学（養護教諭） 教育課程と指導計画（養護教諭） 道徳教育の理論と方法（養護教諭）	3前 3前 3後 3前 1後 1後 2後 2前 3前	2 2 2 2 2 2 2 2 2	4 4 4 1 1 4 1 1						兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼2 兼1 兼1 兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		
教職科目 養護教諭課程	教育相談（養護教諭） カウンセリング論（養護教諭）	2前			2					兼3	教職課程認定申請の審査の指摘により科目名称及び教員を変更(24) 担当 水野進（講師） 平成24年7月 教員審査済 判定 不可 兼任補充可の判定により 兼任講師藏原美雪で補充
	生徒指導の理論と実際	3後			2			1		兼1	教職課程認定申請の審査の指摘により教員を変更(24) 担当 水野進（講師） 平成24年7月 教員審査済 判定 可
	教職実践演習（養護教諭）	4後			2	1				兼2 兼1	オムニバス 教授門川由紀江27年度就任辞退により教員を変更(27) 兼任講師中村月子が担当する(27)
	養護実習	4後			5	1	1	1	1	兼1	教授門川由紀江27年度就任辞退により教員を変更(27) 准教授井上真弓27年度就任辞退により教員を変更(27)  講師戸塚智美27年度就任辞退により教員を変更(27) 兼任講師中村月子が担当する(27)
	ボランティア論	2後			2						教職課程認定申請の審査の指摘により科目を廃止(24)

- (注)
  - 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
  - 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成27年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
  - 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正してください。
  - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

## (2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考		
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計			
89	45	13	147	89	45	13	147	[ ]	[+1 △1]	[+1 △1]

- (注)
  - 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、〔 〕内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
  - 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については参入する必要はありません。

### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	「該当なし」					
2						
3						

- (注)
  - ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	ボランティア論	2	2後期	専門	自由	教職課程科目として設定したが、教職課程認定審査で不適との指摘を受け廃止

- (注)
  - ・ 設置認可時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

### (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

廃止した授業科目については、教職課程認定審査の指摘が、開学前であり、学生への影響はない。学生には、修正されたカリキュラムを配付して周知している。

- (注)
  - ・ 授業科目を未開講又は廃止したことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

### (6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計} \quad 1}{\text{認可時の計画の授業科目数の計} \quad 147} = \boxed{\phantom{000}} \quad 0.68$$

- (注)
  - ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区分		内容					備考
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計		
	校舎敷地	4,265 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	4,265 m <sup>2</sup>		
	運動場用地	5,194 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	5,194 m <sup>2</sup>		
	小計	9,459 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	9,459 m <sup>2</sup>		
	その他	22,263 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	22,263 m <sup>2</sup>		
	合計	31,722 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	31,722 m <sup>2</sup>		
(2) 校舎	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計		体育館、部室等を除く	
	11,058 m <sup>2</sup> ( 11,058 m <sup>2</sup> )	— m <sup>2</sup> ( — m <sup>2</sup> )	— m <sup>2</sup> ( — m <sup>2</sup> )	11,058 m <sup>2</sup> ( 11,058 m <sup>2</sup> )			
(3) 教室等	講義室 11 室	演習室 40 室	実験実習室 1 室	情報処理学習施設 3 室 (補助職員 人)	語学学習施設 0 室 (補助職員 人)		看護学部は、部屋の増設(24) 看護学部、他に学部長室 こども教育学部は、部屋の増設(24) こども教育学部、他に学部長室 こども教育学部は、助教を学生研究室と区切る(26)
	新設学部等の名称			室 数			
(4) 専任教員研究室	看護学部 看護学科			3 3 3 1		室	看護学部は、部屋の増設(24) 看護学部、他に学部長室 こども教育学部は、部屋の増設(24) こども教育学部、他に学部長室 こども教育学部は、助教を学生研究室と区切る(26)
	こども教育学部 幼児教育学科			1 9 1 8 1 7		室	
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 冊 〔うち外国書〕	学術雑誌 種 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点
	看護学部	25,940 [1,853] (25,940 [1,853])	93 [19]	14 [14] ( 14 [14])	708 (708)	2,924 (2,924)	118 (118)
	こども教育学部	24,213 [1,680] (24,213 [1,680])	66 [19]	7 [7] ( 7 [7])	670 (670)	4,341 (4,341)	1 (1)
	計	50,153 [3,533] (50,153 [3,533])	159 [38]	21 [21] (21 [21])	1,378 (1,378)	7,265 (7,265)	119 (119)
(6) 図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数		大学全体
	863 m <sup>2</sup>		138		80,000 冊		
(7) 体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体
	442 m <sup>2</sup>		—		—		
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度
	教員1人当たり研究費等	300千円	300千円	図書購入費	54,398千円	10,188千円	— 千円
	共同研究費等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	141,596千円	19,720千円	— 千円
	学生1人当たり納付金	1,868千円	1,568千円	1,568千円	1,568千円	— 千円	— 千円
		1,448千円	1,148千円	1,148千円	1,148千円	— 千円	— 千円
	学生納付金以外の維持方法の概要	補助金収入、資産運用収入、雑収入等					

- (注)
  - 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA C対象学部等の数値を記入してください。）
  - 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
  - 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
  - 昨年度の報告から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(26)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

## 4 既設大学等の状況

大学の名称		横浜創英大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年	設度	所在地	看護学部 看護学科 二ども教育学部 幼稚教育学科 神奈川県横浜市緑区三保町1番地 同上
看護学部	年	人	年次人	人		倍				
看護学科	4	80	0	320	学士(看護学)	1.20	平成24年度		神奈川県横浜市緑区三保町1番地	
二ども教育学部										
幼稚教育学科	4	80	0	320	学士(教育学)	0.84	平成24年度		同上	
大学の名称	横浜創英短期大学								備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年	設度	所在地	
看護学科	年	人	年次人	人		倍				
看護学科	3	-	-	-	短期大学士(看護)	-	平成19年度		神奈川県横浜市緑区三保町1番地 「平成24年度より学生募集停止」	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部、学科）、大学院（専攻）及び短期大学（学科）（A C対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
- ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
- ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
- ・A C対象学部等についても必ず記入してください。
- ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 5 教員組織の状況

<看護学部 看護学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専 教授	森田孝子 (70)	平成24年4月		大学で学ぶとは（含建学の精神）						
				医療リテラシー			平成24年4月			教員の追加 (25) 平成25年1月 AO教員審査済
				専 講師 中川ひろみ (47)	平成25年4月	医療リテラシー				
				専 講師 横山定美 (39)	平成25年4月	医療リテラシー				講師中川ひろみ就任辞退により教員を変更 (27) 平成27年3月教員を変更書提出済 判定 未
				倫理と道徳 人間発達論 成人看護学概論 成人看護学方法論 I						教員の追加 (26) 平成25年9月 AO教員審査済
				成人看護学方法論 III	専 教授 山崎章恵 (52)	平成25年10月	成人看護学方法論 I			教授山崎章恵就任辞退により担当教員で分担して教育を行う (27)
				成人看護学実習・急性期	専 教授 山崎章恵 (52)	平成26年4月	成人看護学方法論 III			教員の追加 (26) 平成25年9月 AO教員審査済
				看護とコミュニケーション	兼任 講師 山崎章恵 (53)	平成27年4月	成人看護学方法論 III			教授山崎章恵就任辞退により教員を変更 (27) 兼任講師山崎章恵で対応する
				ターミナルケア論 先端医療と看護			平成24年4月			大学設置教員審査結果により教員を追加 (24) 平成24年1月 AO教員審査済
				チーム医療論	専 助教 塚本都子 (45)	平成24年4月	看護とコミュニケーション			助教塚本都子就任辞退により教員を変更 (27) 平成27年3月教員を変更書提出済 判定 未
					専 助教 辻田幸子 (44)	平成27年10月	看護とコミュニケーション			
				看護倫理・法 看護情報学 看護教育学 専門職論 統合実習	専 講師 中川ひろみ (47)	平成25年4月	チーム医療論			教員の追加 (25) 平成25年1月 AO教員審査済
					専 准教授 柴田恵子 (53)	平成27年10月	チーム医療論			講師中川ひろみ就任辞退により教員を変更 (27) 平成27年3月教員を変更書提出済 判定 未
					専 講師 横山定美 (39)	平成27年10月	チーム医療論			教員の追加 (27) 平成27年3月教員を変更書提出済 判定 未
							平成25年10月	成人看護学方法論 II		担当科目的追加 (26) 平成25年9月 AO教員審査済

設置時の計画				変更状況					備考	
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専 教授	土屋八千代 (67)	平成25年4月	成人看護学概論 成人看護学方法論Ⅱ 成人看護学方法論Ⅳ 成人看護学実習・慢性期 がん看護 ターミナルケア論 医療安全学 看護と環境 看護倫理・法 癒しのケア論 看護研究 ゼミナール 統合実習 知的探求入門	成人看護学概論	専 教授	山崎章恵 (51)	平成25年4月	成人看護学概論	平成24年6月 土屋八千代教授就任辞退(25) 平成25年1月 AC教員審査済	
					兼任 講師	山崎章恵 (53)	平成27年4月	成人看護学概論	教授山崎章恵就任辞退により教員を変更 (27) 兼任講師山崎章恵で対応する	
				成人看護学方法論Ⅱ 成人看護学方法論Ⅳ 成人看護学実習・慢性期	専 講師	岡部春香 (37)	平成25年4月	成人看護学方法論Ⅱ	平成24年6月 土屋八千代教授就任辞退(25) 平成25年1月 AC教員審査済	
					専 講師			成人看護学方法論Ⅳ	講師岡部春香就任辞退により教員を変更 (27) 平成27年3月教員を変更書提出済	
					専 講師			成人看護学実習・慢性期	平成27年3月教員を変更書提出済 判定 未	
				がん看護	専 教授	山崎章恵 (51)	平成25年4月	がん看護	平成24年6月 土屋八千代教授就任辞退(25) 平成25年1月 AC教員審査済	
					兼任 講師	山崎章恵 (53)	平成27年4月	がん看護	教授山崎章恵就任辞退により教員を変更予定 (27) 兼任講師山崎章恵で対応する	
				ターミナルケア論	専 講師	藤村朗子 (37)	平成25年4月	ターミナルケア論	平成24年6月 土屋八千代教授就任辞退(25) 平成24年7月 AC教員審査済	
						後任未定			講師藤村朗子就任辞退により教員を変更予定 (27) 後任未定	
				医療安全学	専 講師	橋本真由美 (47)	平成25年4月	医療安全学	平成24年6月 土屋八千代教授就任辞退(25) 平成25年1月 AC教員審査済	
				看護と環境	専 教授	森田孝子 (72)	平成25年10月	看護と環境	平成24年6月 土屋八千代教授就任辞退(25) 開講年次までに教員を手当てる(25)	
							平成26年4月	看護倫理・法	平成25年9月 AC教員審査済	
				癒しのケア論	専 教授	本江朝美 (56)	平成27年10月	癒しのケア論	平成24年6月 土屋八千代教授就任辞退(25) 開講年次までに教員を手当てる(25) 平成27年1月教員を変更申請済(27) 判定 可	
					専 教授					
				看護研究 ゼミナール 統合実習	専 教授	山崎章恵 (51)	平成25年4月	看護研究	平成24年6月 土屋八千代准教授就任辞退(25) 平成25年1月 AC教員審査済	
								ゼミナール		
								統合実習		
					専 教授	本江朝美 (56)	平成27年10月	看護研究	教授山崎章恵就任辞退により教員を変更 (27) 平成27年1月教員を変更申請済(27) 判定 可	
								ゼミナール		
								統合実習		
				知的探求入門	専 教授	山崎章恵 (51)	平成25年4月	知的探求入門	平成24年6月 土屋八千代准教授就任辞退(25) 平成25年1月 AC教員審査済	
					専 教授	及川裕子 (52)	平成27年6月	知的探求入門	教授山崎章恵就任辞退により教員を変更 (27) 平成27年3月教員を変更申請済 判定 未	
専 教授	門川由紀江 (64)	平成24年4月	公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護学Ⅱ 公衆衛生看護学Ⅲ 公衆衛生看護学実習 基礎看護学実習Ⅰ ゼミナール 養護概説 健康相談活動及び方法 教職実践演習（養護教諭） 養護実習	公衆衛生看護学概論	専 准教授	柴田恵子 (53)	平成27年4月	公衆衛生看護学概論	教授門川由紀江27年度就任辞退により教員を変更(27)	
							平成27年10月	公衆衛生看護学Ⅱ	教授門川由紀江27年度就任辞退により教員を変更(27)	
								公衆衛生看護学Ⅲ	平成27年3月教員を変更申請済(27)	
				基礎看護学実習Ⅰ ゼミナール 養護概説 健康相談活動及び方法 教職実践演習（養護教諭） 養護実習			平成27年10月	公衆衛生看護学実習	平成27年3月教員を変更申請済(27)	
				知的探求入門						

設置時の計画				変更状況					備考	
専任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専 教授	佐藤敏子(62)	平成24年4月		人間発達論 高齢者看護学概論						
				高齢者看護学方法論 I			平成24年9月			採用予定人数の充足により担当教員を追加(24) 平成24年7月 AC教員審査済
				高齢者看護学方法論 II 高齢者看護学実習 I	専 助教	中村美幸(50)	平成24年10月	高齢者看護学方法論 I		平成26年3月 中村美幸助教就任辞退(26) 平成26年6月変更書提出済 判定 可
				高齢者看護学実習 II	専 助教	金子直美(40)	平成26年9月	高齢者看護学方法論 I		採用予定人数の充足により担当教員を追加(24) 平成24年7月 AC教員審査済
				家族看護論 I 家族看護論 II 認知症看護論 ターミナルケア論 地域保健医療福祉連携論 ゼミナール 統合実習 知的探求入門			平成24年9月			平成26年3月 中村美幸助教就任辞退(26) 平成26年6月変更書提出済 判定 可
				医療管理学 看護管理学 I 看護管理学 II 地域保健医療福祉連携論 医療安全学 ゼミナール 統合実習						
				看護学概論 看護学援助論 I 看護学援助論 II 看護学援助論 III 看護学援助論 IV 看護学方法論 I 看護学方法論 II 基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 II 看護と環境 ゼミナール 統合実習 知的探求入門						
				公衆衛生学 疫学 保健統計学 社会保障行政論 I 社会保障行政論 II 保健医療福祉行政論 I 保健医療福祉行政論 II 医療情報学 医療情報学演習 基礎看護学実習 I 看護情報学 ゼミナール						
				久保恭子(45)						
				人間発達論	専 教授	石田貞代(58)	平成27年4月	人間発達論	教授久保恭子就任辞退により教員を変更予定(27) 平成27年1月教員審査済 判定 可	
専 教授	桑田恵子(61)	平成24年4月		基礎看護学実習 I						教授久保恭子27年度就任辞退により担当教員で分担(27)
				小児看護学概論	専 教授	及川裕子(52)	平成27年6月	小児看護学概論	教授久保恭子就任辞退により教員を変更予定(27) 平成27年3月教員を変更申請提出済 判定 未 それまでの間、兼任講師で対応	
				小児看護学方法論 I 小児看護学方法論 II 小児看護学実習 I 小児看護学実習 II	兼任 講師	下山京子(56)	平成27年4月	小児看護学概論	教授久保恭子就任辞退により教員を変更予定(27) 平成27年10月教員を変更申請提出済 判定 未 それまでの間、兼任講師で対応	
				母性看護学実習	専 教授	及川裕子(52)	平成27年6月	小児看護学方法論 I	教授久保恭子就任辞退により教員を変更予定(27) 平成27年10月教員を変更申請提出済 判定 未	
				国際看護論			平成27年10月	小児看護学方法論 II	教授久保恭子就任辞退により教員を変更予定(27) 平成27年1月教員審査済 判定 可	
				看護と環境 看護研究 ゼミナール 統合実習 知的探求入門	専 教授	石田貞代(58)	平成27年4月	小児看護学実習 I	教授久保恭子就任辞退により教員を変更予定(27) 平成27年10月教員を変更申請提出済 判定 未	
							平成27年10月	小児看護学実習 II	教授久保恭子就任辞退により教員を変更予定(27) 平成27年4月教員審査済 判定 可	
							平成27年4月		教授久保恭子就任辞退により教員を変更予定(27) 平成27年1月教員審査済 判定 可	
							平成27年10月		教授久保恭子就任辞退により教員を変更予定(27) 平成27年4月教員審査済 判定 可	
					兼任 講師	中村月子(62)	平成27年4月	発達心理学(養護教諭)	教授久保恭子就任辞退により教員を変更予定(27) 兼任講師で対応する	

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専 教授	河原智江 (43)	平成24年4月	保健医療福祉行政論Ⅰ 保健医療福祉行政論Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 在宅看護概論 在宅看護方法論Ⅰ 在宅看護方法論Ⅱ 在宅看護実習 公衆衛生看護学実習 看護と環境 地域保健医療福祉連携論 看護研究 ゼミナール	兼任 講師	川名ヤヨ子 (68)	平成27年4月	保健医療福祉行政論Ⅰ 保健医療福祉行政論Ⅱ	教授河原智江就任辞退により教員を変更(27) 兼任講師で対応する		
									教授河原智江27年度就任辞退により担当教員で分担(27)	
				専 准教授	柴田恵子 (53)	平成27年10月	在宅看護概論	教授河原智江就任辞退により教員を変更(27) 平成27年3月教員を変更申請提出済 判定 未		
				兼任 講師	神山幸枝 (67)	平成27年4月	在宅看護方法論Ⅰ	教授河原智江就任辞退により教員を変更(27)	兼任講師で対応する	
				兼任 講師	齊藤美恵 (45)	平成27年4月	在宅看護方法論Ⅰ	教授河原智江就任辞退により教員を変更(27)	兼任講師で対応する	
				専 教授	及川裕子 (52)	平成27年10月	看護と環境	教授河原智江就任辞退により教員を変更(27) 平成27年3月教員を変更申請提出済 判定 未		
									教授河原智江就任辞退により教員を変更予定(27) れいばくでの、兼任講師で対応する	
									教授河原智江就任辞退により担当教員が分担して行う(27)	
				専 准教授	及川裕子 (52)	平成27年6月	ゼミナール	教授河原智江就任辞退により教員を変更(27) 平成27年3月教員を変更申請提出済 判定 未		
						平成25年4月	知的探求入門	教育・研究業績追加による再申請(25) 平成25年1月 AO教員審査済		
				専 教授	及川裕子 (52)	平成27年6月		教授河原智江就任辞退により教員を変更(27) 平成27年3月教員を変更申請提出済 判定 未		
専 准教授	市川茂子 (58)	平成24年4月	看護学援助論Ⅰ 看護学援助論Ⅱ 看護学援助論Ⅲ 看護学援助論Ⅳ 看護学方法論Ⅰ 看護学方法論Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ ゼミナール 統合実習							
専 准教授	井上真弓 (59)	平成25年4月	在宅看護実習 公衆衛生看護学Ⅰ 公衆衛生看護学Ⅱ 公衆衛生看護学実習 ゼミナール 養護実習						准教授井上真弓就任辞退により教員を変更(27) 担当教員と兼任講師で対応する。	
				専 准教授	柴田恵子 (53)	平成27年6月	公衆衛生看護学Ⅰ	准教授井上真弓就任辞退により教員を変更(27) 平成27年3月教員を変更申請提出済 判定 未		
									准教授井上真弓就任辞退により教員を変更(27) 井上真弓、兼任講師として対応する	
				専 助教	永田智子 (32)	平成27年6月	公衆衛生看護学実習	准教授井上真弓就任辞退により教員を変更(27) 担当教員と兼任講師で対応する。		
				専 講師	樋山定美 (39)	平成27年6月	ゼミナール	准教授井上真弓就任辞退により教員を変更(27) 平成27年3月教員を変更書提出済 判定 未		
									准教授井上真弓就任辞退により教員を変更(27) 担当教員と兼任講師で対応する	
専 准教授	柴田文子 (56)	平成25年4月	人間発達論 小児看護学実習Ⅰ 母性看護学概論 母性看護学方法論Ⅰ 母性看護学方法論Ⅱ 母性看護学実習 ゼミナール 統合実習	専 教授	及川裕子 (52)	平成27年6月	人間発達論	准教授柴田文子就任辞退により教員を変更(27) 平成27年3月教員を変更申請提出済 判定 未		
				専 助教	永田智子 (32)	平成27年6月	小児看護学実習Ⅰ	准教授柴田文子就任辞退により教員を変更(27) 平成27年3月教員を変更申請提出済 判定 未		
				専 教授	石田貞代 (58)	平成27年4月	母性看護学概論	准教授柴田文子就任辞退により教員を変更(27) 平成27年1月教員審査済		
						平成27年10月	母性看護学方法論Ⅰ	准教授柴田文子就任辞退により教員を変更予定(27) 平成27年1月教員審査済		
						平成27年4月	母性看護学方法論Ⅱ	准教授柴田文子就任辞退により教員を変更予定(27) 平成27年1月教員審査済	判定 可	
				専 助教	永田智子 (32)	平成27年6月	母性看護学実習	准教授柴田文子就任辞退により教員を変更(27) 平成27年3月教員を変更申請提出済 判定 未		
									准教授柴田文子就任辞退により教員を変更(27) 担当教員と兼任講師で対応する	
				専 教授	及川裕子 (52)	平成27年10月	統合実習	准教授柴田文子就任辞退により教員を変更(27) 平成27年3月教員を変更申請提出済 判定 未		

設置時の計画					変更状況					備考	
専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
専 准教授	石井美恵子 (50)	平成25年4月		成人看護学方法論Ⅰ	専 講師	橋本真由美 (47)	平成25年4月	成人看護学方法論Ⅰ	平成24年6月 石井美恵子准教授就任辞退(25) 平成25年1月 AC教員審査済		
				成人看護学方法論Ⅲ 成人看護学実習・急性期	専 講師	岡部春香 (37)	平成25年4月	成人看護学方法論Ⅲ 成人看護学実習・急性期	平成24年6月 石井美恵子准教授就任辞退(25) 平成25年1月 AC教員審査済		
				成人看護学方法論Ⅲ 成人看護学実習・急性期	専 講師			成人看護学方法論Ⅲ 成人看護学実習・急性期	講師岡部春香就任辞退により教員を変更(27) 平成27年3月教員を変更申請提出済 判定未		
				成人看護学実習・慢性期	専 教授	森田孝子 (71)	平成25年10月	成人看護学実習・慢性期	平成24年6月 石井美恵子准教授就任辞退のため担当者変更(25) 平成25年9月 AC教員審査済		
				国際看護論	専 教授	山崎章恵 (51)	平成25年4月	国際看護論	平成24年6月 石井美恵子准教授就任辞退(25) 平成25年1月 AC教員審査済		
				救急・災害看護学	専 講師	橋本真由美 (47)	平成25年4月	救急・災害看護学	平成24年6月 石井美恵子准教授就任辞退(25) 平成25年1月 AC教員審査済		
				看護と環境	専 教授	森田孝子 (71)	平成25年10月	看護と環境	平成24年6月 石井美恵子准教授就任辞退(25) 開講年次までに教員を手当てる 平成25年9月 AC教員審査済		
				感染看護学	専 講師	中川ひろみ (47)	平成25年4月	感染看護学	大学設置認可時の留意事項により担当教員を追加(25) 平成25年1月 AC教員審査済		
					専 教授	山崎章恵 (51)	平成25年4月	感染看護学	平成24年6月 石井美恵子准教授就任辞退(25) 平成25年1月 AC教員審査済		
					兼任 講師	中川ひろみ (49)	平成27年4月	感染看護学	教授山崎章恵27年度就任辞退(27) 講師中川ひろみ27年度就任辞退(27) 兼任講師中川ひろみとして対応する		
					専 講師	中川ひろみ (47)	平成25年4月	専門職論	平成24年6月 石井美恵子准教授就任辞退(25) 平成25年1月 AC教員審査済		
				ゼミナール	専 講師	樋山定美 (39)	平成27年6月	専門職論	講師中川ひろみ27年度就任辞退により教員を変更(27) 平成27年3月教員を変更申請提出済 判定未		
					専 講師	中川ひろみ (47)	平成25年4月	ゼミナール	平成24年6月 石井美恵子准教授就任辞退(25) 平成25年1月 AC教員審査済		
				統合実習	専 講師	中川ひろみ (47)	平成25年4月	統合実習	講師中川ひろみ27年度就任辞退により教員を変更(27) 担当教員と兼任講師で対応する		
					専 講師	樋山定美 (39)	平成27年6月	統合実習	平成24年6月 石井美恵子准教授就任辞退(25) 平成25年1月 AC教員審査済		
専 講師	柏木恵子 (62)	平成25年4月	小児看護学実習Ⅰ 小児看護学実習Ⅱ 母性看護学方法論Ⅰ 母性看護学方法論Ⅱ 母性看護学実習 家族看護論Ⅱ ゼミナール 統合実習								
専 講師	水野進 (59)	平成24年4月	教育社会学(養護教諭)				平成24年4月				
								教育原理 (養護教諭)	教職課程認定申請の審査の指摘により教員を変更(25) 平成24年7月 AC教員審査済		
								教職論 (養護教諭)			
								生徒指導の理論と実際			
					兼任 教授	藏原三雪 (66)	平成25年4月	教育相談 (養護教諭)	平成24年6月変更書提出済 平成24年7月教員審査不可 兼任講師藏原三雪補充(25)		

設置時の計画					変更状況					備考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専 講師	江藤和子 (57)	平成25年4月	在宅看護実習	精神看護学概論 精神看護学方法論Ⅰ 精神看護学方法論Ⅱ 精神看護学実習	准教授	江藤和子 (57)	平成25年4月	精神看護学概論	平成24年12月職位を昇格するために変更書提出済(25) 平成25年1月AC教員審査済	
								精神看護学方法論Ⅰ		
								精神看護学方法論Ⅱ		
								精神看護学実習		
				看護とコミュニケーション 看護と環境 ゼミナール 統合実習	専 講師	河原智江 (44) 井上真弓 (59) 戸塚智美 (53) 椎野雅代 (59) 井上聰子 (48) 末田千恵 (44)	平成24年4月 平成25年4月 平成25年4月 平成24年4月 平成24年4月 平成24年4月	看護とコミュニケーション	平成24年12月 職位を昇格するために教員審査変更提出済(25) 平成25年1月AC教員審査 不可 審査済の教授 1、准教授 1、講師 1、助教3で不可の対応をする(25)	
								看護と環境		
								ゼミナール		
								統合実習		
								看護とコミュニケーション		
								看護と環境		
専 講師	石館美弥子 (53)	平成25年4月	小児看護実習Ⅰ 小児看護学方法論Ⅰ 小児看護学方法論Ⅱ 小児看護学実習Ⅰ 小児看護学実習Ⅱ 母性看護学実習 ゼミナール 統合実習	基礎看護学実習Ⅰ 小児看護学方法論Ⅰ	専 助教	辻田幸子 (45)	平成27年10月	基礎看護学実習Ⅰ	講師石館美弥子27年度就任辞退により教員を変更(27) 平成27年3月教員を変更申請提出済判定 未	
								小児看護学方法論Ⅰ		
								小児看護学方法論Ⅱ		
								小児看護学実習Ⅰ		
				小児看護学方法論Ⅱ 小児看護学実習Ⅰ 小児看護学実習Ⅱ	専 助教	佐藤和子 (60)	平成27年6月 平成27年10月 平成27年6月	小児看護学方法論Ⅱ	講師石館美弥子27年度就任辞退により教員を変更(27) 平成27年3月教員を変更申請提出済判定 未	
								小児看護学実習Ⅰ		
								小児看護学実習Ⅱ		
				母性看護学実習 ゼミナール 統合実習	専 助教	後任未定	平成27年10月	統合実習	講師石館美弥子27年度就任辞退により教員の補充を検討(27) 平成27年3月教員を変更申請提出済判定 未	
								統合実習		
								統合実習		
								統合実習		
専 講師	戸塚智美 (53)	平成25年4月	在宅看護方法論Ⅰ 在宅看護方法論Ⅱ 在宅看護実習 公衆衛生看護学実習 ターミナルケア論 ゼミナール 養護実習	在宅看護方法論Ⅰ 在宅看護方法論Ⅱ 在宅看護実習	兼任 講師	宗啓子 (58)	平成27年10月	在宅看護方法論Ⅱ	講師戸塚智美就任辞退により教員を変更(27)	
								在宅看護実習		
								在宅看護実習		
								在宅看護実習		
				公衆衛生看護学実習 ターミナルケア論 ゼミナール	兼任 講師	川名ヤヨ子 (68)	平成27年10月	公衆衛生看護学実習	講師戸塚智美就任辞退により教員の補充(27) 兼任講師と担当教員で対応する	
								公衆衛生看護学実習		
								公衆衛生看護学実習		
				養護実習	兼任 講師	中村月子 (62)	平成27年10月	養護実習	講師戸塚智美就任辞退により教員の補充(27) 兼任講師と担当教員で対応する	
								養護実習		
								養護実習		
								養護実習		
専 講師	中島正世 (50)	平成24年4月	看護学援助論Ⅰ 看護学援助論Ⅱ 看護学援助論Ⅲ 看護学援助論Ⅳ 看護学方法論Ⅰ 看護学方法論Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ ゼミナール 統合実習	看護学援助論Ⅰ 看護学援助論Ⅱ 看護学援助論Ⅲ 看護学援助論Ⅳ 看護学方法論Ⅰ 看護学方法論Ⅱ	専 助教	辻田幸子 (45)	平成27年6月 平成27年10月 平成27年6月 平成27年6月 平成27年6月 平成27年6月	看護学援助論Ⅰ	講師中島正世27年度就任辞退により教員を変更(27) 平成27年3月教員を変更申請提出済判定 未	
								看護学援助論Ⅱ		
								看護学援助論Ⅲ		
								看護学援助論Ⅳ		
								看護学方法論Ⅰ	講師中島正世27年度就任辞退により教員を変更(27) 平成27年3月教員を変更申請提出済判定 未	
								看護学方法論Ⅱ	講師中島正世27年度就任辞退により教員を変更(27) 平成27年3月教員を変更申請提出済判定 未	
								基础看護学実習Ⅰ	講師中島正世27年度就任辞退により教員を変更(27) 平成27年3月教員を変更申請提出済判定 未	
								基础看護学実習Ⅱ	講師中島正世27年度就任辞退により教員を変更(27) 平成27年3月教員を変更申請提出済判定 未	
								ゼミナール	講師中島正世27年度就任辞退により教員を変更(27) 兼任講師と担当教員で対応する	
								統合実習	講師中島正世27年度就任辞退により教員を変更(27) 平成27年3月教員を変更申請提出済判定 未	

設置時の計画					変更状況					備考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専 講師	松本幸枝 (50)	平成24年4月	成人看護学実習・慢性期	基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 II  成人看護学方法論 I  成人看護学方法論 II  成人看護学方法論 III  成人看護学方法論 IV 成人看護学実習・急性期  ゼミナール  統合実習  救急・災害看護学  専門職論  先端医療と看護	専 講師	藤村朗子 (37)	平成25年4月	基礎看護学実習 I	平成24年2月 松本専任講師就任辞退のため担当者変更 (25) 平成24年7月 AC教員審査済	基礎看護学実習 II
								平成25年4月	基礎看護学実習 II	
					専 助教	永田智子 (32)	平成27年6月	基礎看護学実習 I	講師藤村朗子就任辞退により教員を変更予定 (27) 平成27年3月教員を変更申請提出済 判定 未	基礎看護学実習 II
								平成27年6月	基礎看護学実習 II	
					専 講師	藤村朗子 (37)	平成25年4月	成人看護学方法論 I	平成24年2月 松本専任講師就任辞退のため担当者変更 (25) 平成24年7月 AC教員審査済	成人看護学方法論 I
					専 講師	樋山定美 (39)	平成27年6月	成人看護学方法論 I	講師藤村朗子就任辞退により教員を変更予定 (27) 平成27年3月教員を変更申請提出済 判定 未	
					専 講師	藤村朗子 (37)	平成25年4月	成人看護学方法論 II	平成24年2月 松本専任講師就任辞退のため担当者変更 (25) 平成24年7月 AC教員審査済	成人看護学方法論 II
									講師藤村朗子就任辞退により教員を変更予定 (27) 後任未定補充予定	
					専 講師	藤村朗子 (37)	平成25年4月	成人看護学方法論 III	平成24年2月 松本専任講師就任辞退のため担当者変更 (25) 平成24年7月 AC教員審査済	成人看護学方法論 III
					兼任 講師	藤村朗子 (39)	平成27年4月	成人看護学方法論 III	講師藤村朗子就任辞退により教員を変更予定 (27) 平成27年3月教員を変更申請提出済 兼任講師藤村朗子が対応	
					専 講師	藤村朗子 (37)	平成25年4月	成人看護学方法論 IV	平成24年2月 松本専任講師就任辞退のため担当者変更 (25) 平成24年7月 AC教員審査済	成人看護学方法論 IV
								成人看護学実習・急性期	平成24年2月 松本専任講師就任辞退のため担当者変更 (25) 平成24年7月 AC教員審査済	
									講師藤村朗子就任辞退により教員を変更予定 (27) 後任未定補充予定	成人看護学実習・急性期
					専 講師	藤村朗子 (37)	平成25年4月	成人看護学実習・慢性期	平成24年2月 松本専任講師就任辞退のため担当者変更 (25) 平成24年7月 AC教員審査済	
					専 助教	佐藤和子 (60)	平成27年6月	成人看護学実習・慢性期	講師藤村朗子就任辞退により教員を変更予定 (27) 平成27年3月教員を変更申請提出済 判定 未	成人看護学実習・慢性期
					専 講師	藤村朗子 (37)	平成25年4月	ゼミナール	平成24年2月 松本専任講師就任辞退のため担当者変更 (25) 平成24年7月 AC教員審査済	
									講師藤村朗子就任辞退により教員を変更予定 (27) 後任未定補充予定	ゼミナール
					専 講師	藤村朗子 (37)	平成25年4月	ゼミナール	平成24年2月 松本専任講師就任辞退のため担当者変更 (25) 平成24年7月 AC教員審査済	
									講師藤村朗子就任辞退により教員を変更予定 (27) 後任未定補充予定	ゼミナール
					専 講師	藤村朗子 (37)	平成25年4月	統合実習	平成24年2月 松本専任講師就任辞退のため担当者変更 (25) 平成24年7月 AC教員審査済	
					専 助教	永田智子 (32)	平成27年6月	統合実習	講師藤村朗子就任辞退により教員を変更予定 (27) 平成27年3月教員を変更申請提出済 判定 未	統合実習
					専 講師	藤村朗子 (37)	平成25年4月	救急・災害看護学	平成24年2月 松本専任講師就任辞退のため担当者変更 (25) 平成24年7月 AC教員審査済	
					専 講師	樋山定美 (39)	平成27年10月	救急・災害看護学	講師藤村朗子27年度就任辞退により教員を変更 (27) 平成27年3月教員を変更申請提出済 判定 未	救急・災害看護学
					専 講師	藤村朗子 (37)	平成25年4月	専門職論	平成24年2月 松本専任講師就任辞退のため担当者変更 (25) 平成24年7月 AC教員審査済	
									講師藤村朗子就任辞退により教員を変更予定 (27) 後任未定補充予定	専門職論
					兼任 講師	松本幸枝 (52)	平成26年10月	専門職論	平成24年2月 松本専任講師就任辞退(25) 開講年次までに教員を手当てる(25) 松本幸枝兼任講師担当(26)	
									平成24年2月 松本専任講師就任辞退(25) 開講年次までに教員を手当てる(25) 松本幸枝兼任講師担当(26)	先端医療と看護

設置時の計画					変更状況					備考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	講師	澤田和美 (46)	平成24年4月	看護学援助論 I 看護学援助論 II 看護学援助論 III 看護学援助論 IV 看護学方法論 I 看護学方法論 II 基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 II 成人看護学実習・慢性期 ゼミナール 統合実習						
専	講師	吉川奈緒美 (45)	平成24年4月	看護学援助論 I 看護学援助論 II 看護学援助論 III 看護学援助論 IV 看護学方法論 I 看護学方法論 II 基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 II ゼミナール 統合実習	専	助教 鈴木恵 (46)	平成26年9月	看護学援助論 I 看護学援助論 II 看護学援助論 III 看護学援助論 IV 看護学方法論 I 看護学方法論 II 基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 II	平成26年3月 吉川奈緒美講師辞任(26)	平成26年6月変更書提出予定 「ゼミナールは、他に担当教員が21名いるため、支障はない。」
専	助教	椎野雅代 (58)	平成24年4月	基礎看護学実習 I 高齢者看護学実習 I 精神看護学方法論 I 精神看護学方法論 II 精神看護学実習 在宅看護実習 統合実習						
専	助教	井上聰子 (46)	平成24年4月	基礎看護学実習 I 高齢者看護学実習 I 精神看護学実習 在宅看護実習 公衆衛生看護学 II 公衆衛生看護学実習						
専	助教	塚本都子 (45)	平成24年4月	基礎看護学実習 I 高齢者看護学方法論 I 高齢者看護学方法論 II 高齢者看護学実習 I 高齢者看護学実習 II 統合実習						助教塚本都子27年度就任辞退(27) 担当教員の26年度AC教員審査で助手から助教に職位変更の金子直美、若林和枝が対応する
専	助教	鈴木恵 (44)	平成24年4月	基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 II 統合実習						
専	助教	末田千恵 (43)	平成24年4月	高齢者看護学実習 I 在宅看護方法論 I 在宅看護実習 養護実習						
専	助教	西田幸典 (43)	平成24年4月	基礎看護学実習 I  成人看護学方法論 IV  成人看護学実習・慢性期  高齢者看護学実習 I  統合実習	専 助教 中村美幸 (50)	平成24年10月	基礎看護学実習 I  成人看護学方法論 IV  成人看護学実習・慢性期  高齢者看護学実習 I  統合実習	平成24年3月 西田専任助教が就任辞退したため(24) 平成24年7月 AC教員審査済		
				専 助教 若林和枝 (50)	平成26年9月	基礎看護学実習 I  高齢者看護学実習 I  統合実習	平成26年3月 中村助教が辞任(26) 平成26年6月変更書提出済 判定 可			
				後任未定		成人看護学方法論 IV	平成26年3月 中村助教が辞任(26) 「成人看護学方法論 IV」と「成人看護学実習・慢性期」は、他に担当教員が5名いるため、支障はない。			
						成人看護学実習・慢性期				
				成人看護学実習・急性期	専 講師 橋本真由美 (47)	平成25年4月	成人看護学実習・急性期	「後任未定」採用活動中(24) 西田専任助教が就任辞退したため補充(25) 平成25年1月 AC教員審査済		
専	助教	山下麻実 (36)	平成24年4月	基礎看護学実習 I 小児看護学方法論 II 小児看護学実習 I 小児看護学実習 II 母性看護学実習 統合実習						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	助教	宍戸路佳(31)	平成24年4月	基礎看護学実習Ⅰ 小児看護学実習Ⅰ 小児看護学実習Ⅱ 母性看護学実習 統合実習			後任未定			助教宍戸路佳27年度就任辞退 担当教員で対応する
兼任	学長教授	小島謙一(69)	平成24年4月	大学で学ぶとは（含建学の精神） サイエンスの考え方 サイエンスの観察技法 サイエンスの応用 知的探求入門						
兼任	教授	竹山孝二(63)	平成24年4月	癒しと心 感性と人間性 倫理と道徳 人間発達論 精神保健論 児童精神医学（養護教諭） 知的探求入門	兼任	講師	梅村絢美(31)	平成27年4月	癒しと心	担当教員変更(27)
					兼任	講師	土居由美(51)	平成27年4月	感性と人間性	担当教員変更(27)
					兼任	講師	納田容子(33)	平成27年4月	倫理と道徳	担当教員変更(27)
					兼任	講師	土居由美(51)	平成27年4月	人間発達論	担当教員変更(27)
兼任	教授	内海崎貴子(55)	平成24年4月	ジェンダー論 教育論 道徳教育の理論と方法（養護教諭） 教職実践演習（養護教諭） ボランティア論	兼任	教授	藏原三雪(66)	平成24年4月	ジェンダー論 教育論 道徳教育の理論と方法（養護教諭） 教職実践演習（養護教諭）	平成23年11月内海崎貴子兼任教授就任辞退のため担当者変更(24) 教職課程認定審査の指摘により科目廃止(24)
兼任	教授	野尻裕子(53)	平成24年4月	教育課程と指導計画（養護教諭）						
兼任	教授	橋本雄幸(45)	平成24年4月	サイエンスの考え方 サイエンスの観察技法 サイエンスの応用 サイエンスのレポート技法（読み方と書き方） コンピュータ リテラシー1（ワードとエクセル） コンピュータ リテラシー2（パワーポイントとプレゼンテーション） コンピュータ リテラシー3（画像と動画） 統計と分析 知的探求入門						
兼任	准教授	溝口武史(47)	平成24年4月	健康・スポーツ論						
兼任	准教授	武井博美(46)	平成24年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	准教授	牧野有可里(44)	平成24年4月	教育臨床心理学 臨床心理学						
				カウンセリング論(養護教諭)			平成24年4月		教育相談(養護教諭)	教職課程認定審査の指摘により科目名称の変更及び担当教員を追加(24)
兼任	講師	三浦達也(47)	平成24年4月	コンピュータリテラシー1(ワードとエクセル) コンピュータリテラシー2(ワーポイントとプレゼンテーション) コンピュータリテラシー3(画像と動画) 情報リテラシー 経営情報論(ITと社会・経営)						
兼任	講師	若生啓(32)	平成24年4月	サイエンスの考え方 サイエンスの観察技法 サイエンスの応用 サイエンスのレポート技法(読み方と書き方) コンピュータリテラシー1(ワードとエクセル) コンピュータリテラシー2(ワーポイントとプレゼンテーション) コンピュータリテラシー3(画像と動画)						
兼任	助教	Christopher Pulte(58)	平成24年4月	英語I 英語II						
兼任	講師	川田忠典(70)	平成24年4月	症候論I 症候論II 症候論III 症候論IV						
兼任	講師	岡田忠彦(70)	平成24年4月	人の形態と生活・機能I		平成24年4月	人の形態と生活・機能I	平成24年4月から教職課程認定審査の指摘により担当教員追加(24)		
				人の形態と生活・機能II	兼任	講師	川田忠彦(70)	平成24年4月	人の形態と生活・機能II	平成24年4月から教職課程認定審査の指摘により担当教員追加(24)
				人の形態と生活・機能III	兼任	講師	川田忠彦(70)	平成24年4月	人の形態と生活・機能III	
				人の形態と生活・機能IV 人体の機能と構造学演習						
兼任	講師	岡部恵子(74)	平成25年4月	母性看護学概論	専 教授	石田真代(58)	平成27年4月	母性看護学概論	平成27年1月教員審査済	
兼任	講師	中島洋光(73)	平成24年4月	芸術論	兼任 講師	前之園春奈(47)	平成27年4月	芸術論	担当教員変更(27)	
兼任	講師	赤沢陽子(69)	平成24年4月	生命倫理 ジェンダー論	兼任 講師	志自岐康子(67)	平成26年4月	生命倫理	担当教員変更(26)	
					兼任 講師	内海崎賀子(58)	平成26年4月	ジェンダー論	担当教員変更(26)	
兼任	講師	山本勇夫(69)	平成24年4月	生命倫理						
兼任	講師	陳岡啓子(65)	平成24年4月	文章論						
兼任	講師	熊谷晶子(64)	平成24年4月	生化学	兼任 講師	松木秀明(63) 田爪正氣(71) 山村雅一(69) 田爪正氣(69)	平成27年4月 平成26年4月 平成25年4月 平成24年4月	生化学	平成24年2月 熊谷兼任講師就任辞退のため担当教員変更(24) 田爪兼任講師就任辞退のため担当教員変更(25) 山村兼任講師死去のため担当教員変更(26) <b>担当教員変更(27)</b>	
				微生物学	兼任 講師	築地眞實(65)	平成24年4月	微生物学	平成24年2月 熊谷兼任講師就任辞退のため担当教員変更(24)	
兼任	講師	高桑俊文(64)	平成24年4月	病理学	兼任 講師	九島巳樹(59) 馬淵基樹(66)	平成25年4月 平成24年4月	病理学	平成24年3月 高桑兼任講師就任辞退。担当教員変更(24) 馬淵兼任講師就任辞退のため担当教員変更(25)	
兼任	講師	増原慶壯(62)	平成26年4月	臨床薬理学						
兼任	講師	宮川哲夫(58)	平成26年4月	リハビリテーション看護論			平成26年4月			
					兼任 講師	一場友美(36)	平成26年4月	リハビリテーション看護論	平成26年4月 担当教員の追加(26)	
兼任	講師	川島由起子(60)	平成24年4月	栄養学I 栄養学II						
兼任	講師	物部博文(42)	平成26年4月	学校保健論						
				生徒指導の理論と実際			平成24年4月			
					専 講師	水野進(60)	平成24年9月	生徒指導の理論と実際	教職課程認定審査の指摘により担当教員を追加(24) 平成24年7月 AC教員審査済	
兼任	講師	松下年子(56)	平成25年4月	精神看護学概論						
兼任	講師	大関泰裕(50)	平成24年4月	環境リテラシー						
兼任	講師	春日清孝(50)	平成24年4月	家族社会論						
兼任	講師	松田有子(47)	平成26年4月	産業保健活動論						
兼任	講師	道上達男(44)	平成24年4月	サイエンスの考え方						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	高橋秀治 (41)	平成24年4月	サイエンスの考え方 サイエンスの観察技法 サイエンスの応用	兼任	講師	二宮裕将 (36)	平成25年4月	サイエンスの考え方	平成25年3月 高橋兼任講師就任辞退(25) 教員変更
					兼任	講師	青木元秀 (36)		サイエンスの観察技法	
					兼任	講師	関根康介 (36)		サイエンスの応用	
兼任	講師	柳澤泰 (44)	平成24年4月	生活と法律(含日本国憲法)						
兼任	講師	別役重之 (37)	平成24年4月	サイエンスの観察技法 サイエンスの応用	兼任	講師	二宮裕将 (36)	平成25年4月	サイエンスの観察技法	平成25年3月 別役兼任講師就任辞退(25) 教員変更
					兼任	講師	原本悦和 (35)	平成25年4月	サイエンスの応用	
兼任	講師	関根康介 (35)	平成24年4月	サイエンスの考え方 サイエンスの観察技法 サイエンスの応用						
兼任	講師	田口(本杉)亜紗 (35)	平成24年4月	コミュニケーション論 日本文化論 異文化論						
兼任	講師	横田祥子 (35)	平成24年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ	兼任	講師	橋本恭子 (56)	平成25年4月	中国語Ⅰ	平成25年3月 横田兼任講師就任辞退(25) 教員変更
					兼任	講師	伊東史織 (25)		中国語Ⅱ	
兼任	講師	安部久貴 (32)	平成24年4月	健康・スポーツ(演習)	兼任	講師	伊東史織 (25)	平成25年4月	健康・スポーツ(演習)	兼任講師安部久貴27年度就任辞退 担当教員の変更(27)
兼任	講師	吉岡有文 (62)	平成24年4月	教職論(養護教諭) 教育原理(養護教諭)	専	講師	水野進 (59)	平成24年9月	教職論(養護教諭) 教育原理(養護教諭)	教職課程認定審査の指摘により担当教員変更(24) 平成24年6月変更書提出済
兼任	講師	根岸茂登美 (52)	平成26年4月	産業保健活動論						
兼任	講師	崔誠姫 (34)	平成24年4月	韓国語	兼任	講師	趙真慧 (32)	平成26年4月	韓国語	平成26年4月 担当教員の変更(26)
兼任	講師	久保陽子 (61)	平成26年4月	精神看護学実習						平成26年4月 教員の辞退(26) 「精神看護学実習」は、他に担当教員が2名と助手2名がいるため、 支障はない。
兼任	講師	林和代 (61)	平成26年4月	精神看護学実習						
兼任	講師	松本あつ子 (59)	平成25年4月	看護情報学						
兼任	講師	牧野浩子 (57)	平成25年4月	看護情報学						
					専	教授	久保恭子 (45)	平成24年9月	発達心理学(養護教諭)	教職課程認定審査での指摘により科目を変更し、教員追加(24) 平成24年7月 AC教員審査済 <span style="color:red;">平成27年3月教授久保恭子平成27年度就任辞退(27)</span>
					兼任	講師	中村月子 (62)	平成27年4月	発達心理学(養護教諭)	兼任講師中村月子が対応する(27)
					兼任	准教授	牧野有可里 (45)	平成24年9月	発達心理学(養護教諭)	教職課程認定審査での指摘により科目を変更(24) 平成24年7月 AC教員審査済
					専	教授	山崎章恵 (51)	平成25年4月	成人看護学実習(急性期)	教育課程の充実を図るため担当教員の追加(25) 平成25年1月 AC教員審査済 <span style="color:red;">平成27年3月教授山崎章恵平成27年度就任辞退(27)</span>
					専	講師	藤村朗子 (37)	平成25年4月	がん看護	教育課程の充実を図るため担当教員の追加(25) 平成25年1月 AC教員審査済 <span style="color:red;">平成27年3月講師藤村朗子平成27年度就任辞退(27)</span>
					専	講師	中川ひろみ (47)	平成25年4月	成人看護学実習(急性期)	教育課程の充実を図るため担当教員の追加(25) 平成25年1月 AC教員審査済 <span style="color:red;">平成27年3月講師中川ひろみ平成27年度就任辞退(27)</span>
					専	講師	橋本真由美 (47)	平成25年4月	基礎看護学実習Ⅰ	教育課程の充実を図るため担当教員の追加(25) 平成25年1月 AC教員審査済
					専	講師	橋本真由美 (47)	平成25年4月	成人看護学方法論Ⅲ ゼミナール 統合実習	教育課程の充実を図るため担当教員の追加(25) 平成25年1月 AC教員審査済
					専	講師	岡部春香 (37)		基礎看護学実習Ⅰ	教育課程の充実を図るため担当教員の追加(25) 平成25年1月AC教員審査済 <span style="color:red;">平成27年3月講師岡部春香平成27年度就任辞退</span>
					専	講師	岡部春香 (37)		基礎看護学実習Ⅱ	教育課程の充実を図るため担当教員の追加(25) 平成25年1月 AC教員審査済 <span style="color:red;">平成27年3月講師岡部春香平成27年度就任辞退</span>

設置時の計画					変更状況					備考			
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名				
					専 助教	佐藤和子 (60)	平成27年6月	基礎看護学実習Ⅱ	平成27年3月教員審査提出 判定 未				
					専 講師	岡部春香 (37)	平成25年4月	統合実習	教育課程の充実を図るため担当教員の追加(25) 平成25年1月AC教員審査済				
								ゼミナール	平成27年3月講師岡部春香平成27年度就任辞退				
					専 助教	中村美幸 (50)	平成24年10月	基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学方法論Ⅱ 高齢者看護学実習Ⅱ	教育課程の充実を図るため担当教員の追加(25) 平成24年7月 AC教員審査済 平成26年3月 中村美幸助教就任辞退				
								成人看護学方法論Ⅳ	教育課程の充実を図るため担当教員の追加(26)				
								成人看護学実習・慢性期	平成25年9月 AC教員審査済				
					専 助教	金子直美 (40)	平成26年9月	高齢者看護学方法論Ⅱ 高齢者看護学実習Ⅰ	教育課程の充実を図るため担当教員の追加(26) 平成26年6月変更書提出済 判定 可				
					専 助教	若林和枝 (50)	平成26年9月	基礎看護学実習Ⅱ	教育課程の充実を図るため担当教員の追加(26)				
								高齢者看護学方法論Ⅰ	平成26年6月変更書提出済 判定 可				
								高齢者看護学方法論Ⅱ	教育課程の充実を図るため担当教員の追加(26)				
								高齢者看護学実習Ⅱ	平成26年6月変更書提出済 判定 可				
								看護学概論	教育課程の充実を図るため担当教員の追加(27) 平成27年1月 AC教員審査済				
								看護学援助論Ⅰ					
								看護学援助論Ⅱ					
								看護学援助論Ⅲ					
								看護学援助論Ⅳ					
								看護学方法論Ⅰ					
								看護学方法論Ⅱ					
								基礎看護学実習Ⅰ					
								基礎看護学実習Ⅱ					
								看護とコミュニケーション					

(注) ・認可申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、  
(○○学部△△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。

- ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。

- ・年齢は、「認可時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。

- ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、  
その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

- ・**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、  
大学設置・学校法人審査による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業などを担当することは出来ません。**

- ・「専任教員採用等変更書(A-C)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書  
提出予定」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
教 授	准教授	講 師	助 教	計	教 授	准教授	講 師	助 教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
9 〔 7 〕	4 〔 1 〕	9 〔 5 〕	8 〔 8 〕	30 〔 21 〕	8 〔 △ 1 〕	3 〔 △ 1 〕	5 〔 △ 4 〕	10 〔 2 〕	26 〔 △ 4 〕	65 歳	2 名	65 歳	2 名

- (注) - 「設置時の計画」には、設置認可時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ] 内に設置認可時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)
- 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成26年5月1日現在、特定等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
  - なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定に定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
  - 「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「ー」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1	講師	松本幸枝	家庭の事情により、就任辞退となった。
2	助教	西田幸典	他大学で講師で就任することになり、就任辞退となった。
3	教授	土屋八千代	他大学院で教授で就任することになり、就任辞退となった。
4	准教授	石井美恵子	一身上の都合により、就任辞退となった。
5	講師	吉川奈緒美	家庭の事情により、辞任となった。(26)
6	助教	中村美幸	家庭の事情により、辞任となった。(26)
7	教授	門川由紀江	一身上の都合により、辞任となった。(27)
8	教授	久保恭子	他大学(新設校)で教授に就任することになったので、辞任となった。(27)
9	教授	山崎章恵	他大学で教員に就任することになったので、辞任となった。(27)
10	教授	河原章恵	一身上の都合により、辞任となった。(27)
11	准教授	井上真弓	他大学(新設校)で教員に就任することになったので、辞任となった。(27)
12	准教授	柴田文子	他大学(新設校)で教員に就任することになったので、辞任となった。(27)
13	講師	中島正世	他大学(新設校)で講師に就任することになったので、辞任となった。(27)
14	講師	戸塚智美	一身上の都合により、辞任となった。(27)
15	講師	石館美弥子	他大学で教員に就任することになったので、辞任となった。(27)
16	講師	藤村朗子	他大学で教員に就任することになったので、辞任となった。(27)
17	講師	岡部春香	他大学で教員に就任することになったので、辞任となった。(27)
18	講師	中川ひろみ	一身上の都合により、辞任となった。(27)
19	助教	塙本都子	他大学(新設校)で教員に就任することになったので、辞任となった。(27)
20	助教	宍戸路佳	一身上の都合により、辞任となった。(27)

- (注) - 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
- 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任(就任辞退を含む)等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。

#### (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- 1.松本幸枝の辞退は、担当授業科目開設前であり、かつその科目担当教員の変更は、「先進医療と看護」を除いて、申請審査済である。最も早く開講する「基礎看護学実習Ⅰ」(平成25年2月)については、事前ガイダンスで変更を周知した。「先進医療と看護」についても事前ガイダンス前に担当教員を周知することが可能と考えられる。
- 2.西田幸典の辞退は、担当授業科目開設前であり、かつその科目担当教員の変更は、すべて申請審査済である。最も早く開講する「基礎看護学実習Ⅰ」(平成25年2月)については、事前ガイダンスで変更を周知した。その他の科目も事前ガイダンスで変更周知を行う。
- 3.土屋八千代の辞退は、担当授業科目開設前であり、かつその科目担当教員の変更は、「看護と環境」「看護倫理・法」「癒しのケア論」を除いて申請審査済である。最も早く開講予定の「看護と環境」(2年次後期)については、オムニバス科目として、科目の一部を受け持つており、事前ガイダンスで変更周知を行う。「看護倫理・法」と「癒しのケア論」についても、担当授業科目開設前であり、事前ガイダンスで変更周知が可能である。
- 4.石井美恵子の辞退は、担当授業科目開設前であり、かつその科目担当教員の変更は、「成人看護学実習慢性期」と「看護と環境」を除いて申請審査済である。最も早く開講予定の「看護と環境」(2年次後期)については、オムニバス科目として、科目の一部を受け持ち、事前ガイダンスで変更周知が可能である。「成人看護学実習慢性期」も事前ガイダンスで変更周知が可能である。その他の科目も、事前ガイダンスで変更周知を行う。
- 5.吉川奈緒美の辞任は、担当授業科目開始前であり、その科目担当教員の変更は、「ゼミナール」を除いて後任補充の審査申請予定である。審査前の授業科目においては、同一科目担当の複数の教員が分担するので問題ないと思料し、学生へは、シラバス記載と事前ガイダンスで変更周知を行う。また、「ゼミナール」は担当教員が分担するので問題ないと思料する。(26)
- 6.中村美幸の辞任は、担当授業科目開始前であり、その科目担当教員の変更は、「成人看護学方法論Ⅱ」を除いて後任補充の審査申請予定である。審査前の授業科目においては、同一科目担当の複数の教員が分担するので問題ないと思料し、学生へは、シラバス記載と事前ガイダンスで変更周知を行う。また、「成人看護学方法論Ⅱ」は、担当教員が分担するので問題ないと思料する。(26)
- 7.教授の久保恭子の辞任は、「ゼミナール」を除いて、担当授業科目開始前であり、なおかつ担当科目的教員を補充し、申請審査を受けている。ゼミナールについては、学生には辞任した教員から直接説明し、後任の引継ぎも伝えてあり、その他の科目も事前ガイダンスで変更周知を行う。(27)
- 8.教授の門川由紀江の辞任は、「ゼミナール」を除いて、担当授業科目開始前であり、なおかつ担当科目的教員を補充する予定である。ゼミナールについては、学生には辞任した教員から直接説明し、後任の引継ぎも伝えてあり、その他の科目も事前ガイダンスで変更周知を行う。(27)
- 9.教授の山崎章恵、准教授の井上真弓、講師の藤村朗子の辞任は、担当授業科目開始前であり、なおかつ担当科目的教員を補充し、申請審査を受けている。ゼミナールについては、学生には辞任した教員が引き継ぎ担当することも伝えてあり、その他の科目も事前ガイダンスで変更周知を行う。(27)
- 10.准教授の柴田文子の辞任は、「ゼミナール」を除いて、担当授業科目開始前であり、なおかつ担当科目的教員を補充する予定である。ゼミナールについては、学生には辞任した教員から直接説明し、後任の引継ぎも伝えてあり、その他の科目も事前ガイダンスで変更周知を行う。(27)
- 11.講師の中川ひろみ、岡部春香の辞任は、「ゼミナール」を除いて、担当授業科目開始前であり、なおかつ担当科目的教員を補充する予定である。ゼミナールについては、学生には辞任した教員から直接説明し、後任の引継ぎも伝えてあり、その他の科目も事前ガイダンスで変更周知を行う。(27)
- 12.講師の中島正世の辞任は、「ゼミナール」を除いて、担当授業科目前であり、なおかつ担当科目的教員を補充し、申請審査を受けている。ゼミナールについては、学生には辞任した教員から直接説明し、後任の引継ぎも伝えてあり、その他の科目も事前ガイダンスで変更周知を行う。(27)
- 13.助教の「塚本都子」と「宍戸路佳」の辞任は、担当授業科目開始前であり、担当科目は事前ガイダンスで変更周知を行う。また、担当科目は担当教員で分担するので支障ないと思料する。(27)

(注) - 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

### 看護学部看護学科

区分	留意事項等	履行状況	未履行事項についての実施計画
認可時 (平成23年10月)	<p>・設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年生大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させよう努めること。</p> <p>・専任教員の補充を必要とされた1授業科目については開学時までに、2授業科目については科目開設時までに、確実に専任教員を配置すること。</p>	24年度は、「自己点検・評価・FD委員会」を設置し年間9回開催した。その内容は、本学設置の趣旨・目的を踏まえた授業評価アンケート、FD研修会であった。(25)	・設置計画を確実に履行し、四年制大学として水準向上を目指すために、「FD」及び「自己点検」を実施する。(24)
		2授業科目の1科目目「知的探求入門」は、専任の教授5名の補充は難しいため、当面は教員審査済みの教授4名と他の教員と2名とで複数のグループを担当し指導を行っていく。(24)	
		2授業科目の1科目目「知的探求入門」は、専任の教授4名と教員審査不可の教授4名をペアで担当する予定でしたが、24年度の受講生が23名と予定より少なかったため、3つのグループを編成し、教授3名で担当することとした。他の教員はFDとして参加する。(24)	
		2授業科目の2科目目「看護とコミュニケーション」は、平成24年2月の教員審査で「可」となった専任助教を、平成24年4月に採用済である。(24)	
		1授業科目の「感染看護学」は、専任教員の候補者として助教を平成24年9月採用。平成24年6月に変更書提出予定である。(24)	
		1授業科目の「感染看護学」は、24年6月変更書を提出した教員が、不可になった。その後、平成24年12月に変更書を提出し、平成25年1月教員審査済になった専任講師を、平成25年4月に採用済である。(25)	

認可時 (平成23年10月)	<p>・設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確實に履行すること。また、開設時から4年生大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</p> <p>・専任教員の補充を必要とされた1授業科目については開学時までに、2授業科目については科目開設時までに、確実に専任教員を配置すること。</p>	留意事項	2授業科目の1科目目「知的探求入門」は、新たに教授3名が平成24年12月に変更書を提出し、25年1月教員審査済になった。これにより平成25年4月からは6名の専任教員で授業を行うことになった。(25)	
設置計画履行状況 調査時 (平成25年5月)	「該当なし」			
設置計画履行状況 調査時 (平成26年5月)	「該当なし」			

- (注)
  - ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（　）書きで付記してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

＜看護学部 看護学科＞

### (1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
施設・設備 2号館1階 基礎看護学実習室 (214.79m <sup>2</sup> )	学生の修学環境を改善するため、基礎看護学演習室2 (56.99m <sup>2</sup> ) を1部屋増やした。このスペース確保のため、同1階の機材室2(△7.99m <sup>2</sup> )、ロッカーリム(△32.59m <sup>2</sup> )及びシャワー室(△16.41m <sup>2</sup> )のスペースを削減した。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）

及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制
a 委員会の設置状況 開学と同時に「自己点検・評価・FD委員会」を設置し、25年度より「FD委員会」を新たに独立して設置した。 <関係規程抜粋> ①学則・・・第4条（教育内容等の改善） 「本学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織を設け、研修及び研究を実施するものとする」 ②FD委員会規程・・・第1条（趣旨） 「この規程は、横浜創英大学学則第4条並びに横浜創英大学各種委員会規程第3条第3項の規定に基づき、授業の改善および教育研究水準の向上に関して全学的な立場で審議し、ファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）を推進するために設置する横浜創英大学FD委員会（以下「FD委員会」という。）の任務、組織その他に關必要な事項を定めるものとする。」
b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 原則として月1回開催。
c 委員会の審議事項等 ・授業内容及び教育方法の改善並びに教育力向上（FD）のための基本的方針の策定に関する事項 ・FDの実施体制等に関する事項 ・FDに係る講演会及び教職員研修会等の開催に関する事項
② 実施状況
a 実施内容（26年度は以下を実施した） ・学生による授業評価アンケートの実施 ・同上アンケート結果の分析及び授業改善課題への取組み ・FD研修会（講演会の開催） ・FDワークショップ ・FD報告書作成
b 実施方法 ・平成26年度授業評価実施要項に基づき、前期・後期の全ての授業科目を対象に「学生による授業評価アンケート」を実施し、その結果を担当教員に配布し学生へのコメントを公開する。 ・アンケート結果に基づき改善課題を抽出し、教学面の課題については両学部が、施設設備面の課題については事務局が中心となって検討する。 ・FD講演会を外部講師を招いて1回実施した。（教職員参加：54名） ・FDワークショップとして、学内教員の事例報告及びディスカッションを実施した。（教職員参加：30名） ・冊子体で前年度の事業内容を報告書としてまとめ公開した。（「平成25年度FD活動報告書」、A4版、p155）
c 開催状況（教員の参加状況含む） ・26年4月に第1回委員会を開催し、年間9回行われた。（教員5名、事務局5名の委員で構成）
d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ・学生による授業評価アンケート結果については、その都度担当教員のコメントを学内HPに公開し、学生にフィードバックする。 ・授業改善課題については、両学部教授会等において検討のうえ、学内コンセンサスを得たうえで実施している。
③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
a 実施の有無及び実施時期 ・原則として、前期（6月～7月）、後期（12月～1月）の最終授業時に実施。
b 教員や学生への公開状況、方法等 ・学内HP上で公開。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

- ・本学学則第2条（注）に則り、本学の教育水準の向上を図り、その目的及び社会的使命を達成するため、自己点検・評価委員会を設置している。  
（注）第2条 本学は、教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。
- 2 本学は、教育研究等の総合的な状況について、政令で定める期間ごとに、文部科学大臣の認定を受けた認証評価機関による評価を受けるものとする。
- 3 前項の点検及び評価を行うに当たっての項目の設定、実施体制等については、別に定める。

・自己点検・評価委員会の活動については、自己点検・評価委員会規程に則り、本学の教育研究に関する活動状況並びに組織、施設・設備、運営状況等について、自己点検・評価を実施するとともに、所要の改善を図ることとしている。

・本学においては、平成25年度に開学後初となる自己点検・評価を実施し、その評価報告書を翌年度に大学ホームページに公表した。

・本学では、平成29年度には、財団法人日本高等教育評価機構による第三者認証評価を受審する予定である。本委員会では、平成25年度版自己点検評価報告書の改善向上方策に記載された改善課題の進捗状況をチェックしつつ、自己点検・評価結果に基づく改善策の策定を行っていく予定である。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

・平成26年7月31日 公表

##### b 公表方法

・自己点検・評価報告書については、本学の運営会議において、審議・承認を経た後、大学ホームページ上に公開。

#### ③ 認証評価を受ける計画

・平成29年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置認可時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### （4）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (  有 .  無 )  
b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成26年6月30日 )

## 1 調査対象大学等の概要等

### (1) 設 置 者

学校法人 堀井学園

### (2) 大 学 名

横浜創英大学

### (3) 大学の位置

〒226-0015

神奈川県横浜市緑区三保町1番地

- (注) ・ 対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。  
・ 対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

### (4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理事長	（ホイリ モトアキ） 堀井 基章 (昭和60年3月)	「該当なし」	
学 長	（コジマ ケンイチ） 小島 謙一 (平成24年4月)	「該当なし」	
こども教育 学 部 長	（シゲシタ カズオ） 繁下 和雄 (平成24年4月)	「該当なし」	
看護学部長	（モリタ タカコ） 森田 孝子 (平成24年4月)	「該当なし」	

- (注) ・ 「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・ 大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ 様式は、平成24年度開設の4年制の学科の場合（平成27年度までの4年間）ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）

(5) -① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の名称（学位）	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
こども教育学部 幼児教育学科 学士（教育学）	年 4	人 80	人 0	人 320	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員超過率	開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 80	人 （—）	人 80	人 〔—〕	人 （—）	人 〔—〕	人 80	人 〔—〕	人 （—）	人 〔—〕			
志願者数	49	—	81	—	150	—	107	—					
受験者数	47	—	79	—	145	—	96	—			0.84倍	一倍	
合格者数	44	—	79	—	101	—	85	—					
B 入学者数	38	—	63	—	100	—	70	—					
入学定員超過率 B/A	0.47		0.78		1.25		0.87						

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ））書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
  - ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
  - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
  - ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学（「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学）のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] ( - ) 38	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) 63	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) 100	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) 70	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	
2年次			[ - ] ( - ) 37	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) 60	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) 95	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	
3年次					[ - ] ( - ) 36	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) 58	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	
4年次							[ - ] ( - ) 36	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	
計	[ - ] ( - ) 38	[ - ] ( - ) 100	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) 196	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) 259					

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数		
平成24年度 入学者	38 人	2 人	平成24年度	1 人	人	就学意欲の低下(1人)	5.3 %
			平成25年度	1 人	人	除籍(1人)	
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成25年度 入学者	63 人	5 人	平成25年度	2 人	人	他の教育機関への入学・転学(1人)、就職(1人)	7.9 %
			平成26年度	2 人	人	就職(2人)	
			平成27年度	1 人	人	除籍(1人)	
平成26年度 入学者	100 人	5 人	平成26年度	3 人	人	就学意欲の低下(1人)、就職(2人)	5.0 %
			平成27年度	2 人	人	就学意欲の低下(1人)、除籍(1人)	
平成27年度 入学者	70 人	0 人	平成27年度	人	人		0.0 %
合 計	271 人	12 人					4.4 %

(注)・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下　　・学力不足　　・他の教育機関への入学・転学　　・海外留学  
 ・就職　　・学生個人の心身に関する事情　　・家庭の事情　　・除籍　　・その他

## 2 授業科目の概要

<こども教育学部 幼児教育学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
サイエンス・リテラシー	大学で学ぶとは（含建学の精神）	1前	1			1				兼1
	サイエンスの考え方	1前	1			2		1		兼3
	サイエンスの観察技法	1前	1			2		1		兼2
	サイエンスの応用	1後		1		2		1		兼3
	サイエンスのレポート技法（読み方と書き方）	1前	1			1		1		
	コンピュータリテラシー1 （ワードとエクセル）	1前	1			1		2		
	コンピュータリテラシー2 （パワーポイントとプレゼンテーション）	1後	1			1		2		
	コンピュータリテラシー3 （画像と動画）	1後		1		1		2		
	医療リテラシー	1後		1						兼2
	環境リテラシー	1前		1						兼1
	情報リテラシー	1後	1					1		
	統計と分析	1後		1		1				
教養科目	経営情報論（IT社会・経営）	1後		1				1		
	癒しと心	1後	1			1				
	感性と人間性	1後		1		1				兼1
	倫理と道德	1後	1			1				兼1
	コミュニケーション論	1前	1							兼1
	ジェンダー論	1後		1		1				兼1
	教育臨床心理学	1後		1			1			
	教育論	1後		1		1				兼1
	家族社会論	1前		1						兼1
	芸術論	1前		1						兼1
	日本文化論	1前		1						兼1
	異文化論	1後		1						兼1
	人間発達論	1前	1				1			兼4
	生活と法律（含日本国憲法）	1後		2						兼1
	文章論	1後		1						兼1
	健康・スポーツ論	1前	1				1			
	健康・スポーツ（演習）	1前		1						兼1
	英語 I	1前	1				1		1	
	英語 II	1後	1				1		1	
	英語 III	2前		1			1			
	中国語 I	1・2・3・4前		1						兼1
	中国語 II	1・2・3・4後		1						兼1
	韓国語	1・2・3・4前		1						兼1

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
教育・保育の研究	国語	1後		2						兼1
	生活	1前		2		1				
	幼児指導法	2前	2			1				
	保育者論	1後	2			1				
	教職論	2前	2			1				
	教育史	1後		2		1				
	教育社会学	2後		2						
	教育原理	1前		2		1				
	道徳教育の理論と方法	3前		2		1				
	幼児教育原理	2後	2	1		1				
	障がい児保育Ⅰ	2前		1						兼1
	障がい児保育Ⅱ	2後								兼1
専門科目	乳児保育Ⅰ	2後		1		1	+			兼1
	乳児保育Ⅱ	3前		1		1	+			兼1
	保育原理Ⅰ（思想と歴史）	1前	2			1				
	保育原理Ⅱ（現状と課題）	1後		2		1				
	教育課程と指導計画	2前	2			1				
	保育課程論	2後	2			1				
	教職実践演習（幼）	4後		2		2				
	保育実践演習	4後		2			1	1	1	兼1
	統合保育論	1後		2						兼1
	幼児理解の理論と方法	2前		2			1			
	幼児教育実地研究演習	1前	1			1			1	
	幼児教育実地研究	1後	1			1		1	1	
目	基礎ゼミナール	1前	1			1	1	1	1	
	保育内容総論	1前	1			1				
	保育内容演習Ⅰ（3歳未満児）	2後		2		1	+			兼1
	保育内容演習Ⅱ（幼児）	3前		2		1				
	保育環境論	1後		2		1				
	保育内容「健康」の指導法	1後	2			1				
	保育内容「環境」の指導法	1後	2			1				
	保育内容「人間関係」の指導法	2前	2			1				
	保育内容「言葉」の指導法	2前	2			1				
	保育内容「表現」の指導法	2前	2			2				
	教育の方法と技術	2後		2					1	
	教材研究A（造形）	3前		2		1				
保育の理解	教材研究B（音楽）	3後		2		1				
	教材研究C（運動）	4前		2		1				
	子どもとメディア	3後		2			1			
	子どもと自然	3後		2						兼1
	発達心理学	1前	2				1	1		
	保育と心理学	1後	1					1		
	道徳性の発達	2後		2				1		
	子どもの発達と臨床Ⅰ	3前		2			1			
	子どもの発達と臨床Ⅱ	3後		2			1			
	子どもの心理療法	4後		2			1			
	家族関係論	2前		2						兼1
子ども心理と臨床	家族病理研究	4前		2			1			
	教育相談	2後		2			1			
	虐待の精神医学	4後		2		1				
	児童精神医学	4前		2		1				

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
生活と福祉	社会福祉	1前		2			1			兼1
	相談援助	3後		1			1			
	社会的養護	2前		2			1			
	社会的養護内容	2後		1			1			
	児童家庭福祉	1後		2			1			
	家族支援論	2前		2			1			
	保育相談支援	3前		1			1			兼1
	特別支援保育概論	3後		2						兼1
	特別支援保育の方法	4前		2						兼1
	子育てとジェンダー	3後		2		1				
	ボランティア論	1後		2						兼1
	生涯学習論	4後		2		1		1		
	子育て支援論A（幼稚園）	3前		2			1			兼1
	子育て支援論B（保育所）	3後		2						
	子育て支援論C（施設）	3前		2		1				
	キャリア教育	2後		2						
専門科目	子どもの保健Ⅰ	1通	4				+			兼1
	子どもの保健Ⅱ	2前		1			+			兼1
	病児・病後児保育論	3後	2				+			兼1
	病児・病後児保育実地研究	4前		1			+	1		兼1
	子どもの障がい論	3後		2						兼1
	小児救急処置法	3前		1						兼2
	子どもの食と栄養	2後		2						兼1
	体育Ⅰ	2通		2						
	体育Ⅱ	3通		2			1	1		
	子どもと運動	1前		2						
	野外活動	4前		2			1			
	健康教育学	1後		2						
	健康教育学演習	2前		1						兼1
	食育保育論	3前		2						兼1
	母子保健概論	2後		2			+			兼1
	母子保健演習	3前		1			+			兼1

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
保育文化と表現活動	音楽 I	2通		2		1		1		兼1 兼1 兼1 兼2 兼4 兼3
	音楽 II	3通		2		1		1		
	图画工作 I	2通		2		1				
	图画工作 II	3通		2		1				
	音楽基礎 A (理論・ソルフェージュ)	1通		2						
	音楽基礎 B (歌唱・伴奏)	2通		2				1		
	音楽基礎 C (器楽)	2通		2					1	
	音楽基礎 D (表現活動)	3通		2						
	ピアノ A (入門)	1通		2		1		1		
	ピアノ B (初級)	1通		2		1		1		
	ピアノ C (中級)	2通		2		1		1		
	ピアノ D (応用)	4通		2				1		
	造形基礎 A	1前		2		1				
	造形基礎 B	1後		2		1				
専門科目	造形保育論	2前		2		1				准教授細井香就任辞退により教員を変更(26) 担当 鈴木香代子(講師) 平成26年6月 教員審査提出 判定 可  専任教員を補充(27) 担当 駒井美智子(教授) 平成26年12月 教員審査提出 判定 可  講師鈴木香代子、27年度就任辞退により担当者で分担する。(27)
	児童文化	4前		2		1				
	児童文学	3後		2		1				
	絵本論	1前		2		1				
	遊びの文化研究	4後		2				1		
	研究法 A (文献研究)	3前	2			1				
	研究法 B (フィールド研究)	3前	2				1			
	卒業研究	4通	4			7 -6	3 -4	2 -3	2	
	卒業研究ゼミナー	3通	2			7 -6	3 -4	2 -3	2	
実習	幼稚園教育実習事前事後指導 I	3後		1		1		1	1	講師丹羽さかの育休により兼任講師が担当(27)  准教授細井香就任辞退により教員を変更(26) 担当 鈴木香代子(講師) 平成26年6月 教員審査提出 判定 不可 教員審査前は、兼任講師を補充する。 専任教員を補充(27) 担当 駒井美智子(教授) 平成26年12月 教員審査提出 判定 可
	幼稚園教育実習事前事後指導 II	4前		1			1	1	1	
	幼稚園教育実習 I	3集		2		1		1	1	
	幼稚園教育実習 II	4前		2			1	1	1	
	保育実習事前事後指導 I A (保育所)	3前		1		1 -1		1	1	
	保育実習事前事後指導 I B (施設)	3前		1		1	1		1	
	保育実習事前事後指導 II (保育所)	4前		1			1	1	1	
	保育実習事前事後指導 III (施設)	4前		1			1	1	1	

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		
専門科目	保育実習ⅠA（保育所）	3集		2		1	+	-1	1	1	准教授細井香就任辞退により教員を変更(26)
	保育実習ⅠB（施設）	3集		2		1	1	1	1	1	専任教員を補充(27) 担当 鈴木香代子（講師） 平成26年6月 教員審査提出 判定 可
	保育実習Ⅱ（保育所）	4集		2		1	1	1	1	1	担当 駒井美智子（教授） 平成26年12月 教員審査提出 判定 可
	保育実習Ⅲ（施設）	4集		2		1	1	1	1	1	講師鈴木香代子、27年度就任辞退により担当者で分担する。(27)

- (注) - 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成27年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかつたために未開講となった科目についても記入してください。

## (2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考			
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計
科目 85	科目 61	科目 7	科目 153	科目 85 [ ]	科目 61 [ ]	科目 7 [ ]	科目 153 [ ]				

- (注) - 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[ ] 内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	「該当なし」					
2						
3						

- (注) • 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となつている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 • 履修希望者がいなかったために未開講となつた科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
	「該当なし」					

- (注) • 設置認可時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「該当なし」

- (注) • 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

「該当なし」

未開講科目と廃止科目の計 0	=	0.00
認可時の計画の授業科目数の計 153		

- (注) • 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区分		内容					備考			
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計					
	校舎敷地	4,265 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	4,265 m <sup>2</sup>					
	運動場用地	5,194 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	5,194 m <sup>2</sup>					
	小計	9,459 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	9,459 m <sup>2</sup>					
	その他の	22,263 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	22,263 m <sup>2</sup>					
	合計	31,722 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	31,722 m <sup>2</sup>					
(2) 校舎	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計		体育館、部室等を除く				
	11,058 m <sup>2</sup> ( 11,058 m <sup>2</sup> )	— m <sup>2</sup> ( — m <sup>2</sup> )	— m <sup>2</sup> ( — m <sup>2</sup> )	11,058 m <sup>2</sup> ( 11,058 m <sup>2</sup> )						
(3) 教室等	講義室 11 室	演習室 40 室	実験実習室 1 室	情報処理学習施設 3 室 (補助職員 人)	語学学習施設 0 室 (補助職員 人)					
	新設学部等の名称			室 数		看護学部は、部屋の増設(24) 看護学部、他に学部長室 こども教育学部は、部屋の増設(24) こども教育学部、他に学部長室 こども教育学部は、助教を学生研究室と区切る(26)				
(4) 専任教員研究室	看護学部 看護学科			3 3 3 1 室						
	こども教育学部 幼児教育学科			1 9 1 8 1 7 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書冊 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 種 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点			
	看護学部	25,940 [1,853] (25,940 [1,853])	93 [19] ( 93 [19] )	14 [14] ( 14 [14] )	708 (708)	2,924 (2,924)	118 (118)			
	こども教育学部	24,213 [1,680] (24,213 [1,680])	66 [19] ( 66 [19] )	7 [7] ( 7 [7] )	670 (670)	4,341 (4,341)	1 (1)			
	計	50,153 [3,533] (50,153 [3,533])	159 [38] (159 [38])	21 [21] (21 [21])	1,378 (1,378)	7,265 (7,265)	119 (119)			
(6) 図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数		大学全体			
	863 m <sup>2</sup>		138		80,000 冊					
(7) 体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体			
	442 m <sup>2</sup>		—							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度			
	教員1人当たり研究費等	300千円	300千円	図書購入費	54,398千円	10,188千円	— 千円			
	共同研究費等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	141,596千円	19,720千円	— 千円			
	学生1人当たり納付金	1,868千円	1,568千円	1,568千円	1,568千円	— 千円	— 千円			
	1,448千円	1,148千円	1,148千円	1,148千円	— 千円	— 千円	— 千円			
	学生納付金以外の維持方法の概要	補助金収入、資産運用収入、雑収入等								

- (注)
  - 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA C対象学部等の数値を記入してください。）
  - 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
  - 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
  - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(26)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

## 4 既設大学等の状況

大学の名称	横浜創英大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年	設度	所在地	(注意)課程認定等により専攻・コースに入学定員を定めている場合は、専攻・コース別にも記入してください。(履修上の区分として専攻・コースを設けている場合は記入は不要です。)
こども教育学部 幼稚教育学科	年 4	人 80	年次 人 0	人 320	学士 (教育学)	倍 0.84	平成24年度	神奈川県横浜市緑区三保町1番地		
看護学部 看護学科	年 4	人 80	年次 人 0	人 320	学士 (看護学)	倍 1.20	平成24年度	同上		
大学の名称	横浜創英短期大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年	設度	所在地	(注意)学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は
看護学科	年 3	人 -	年次 人 -	人 -	短期大学士 (看護)	倍 -	平成19年度	神奈川県横浜市緑区三保町1番地	「平成24年度より学生募集停止」	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部、学科）、大学院（専攻）及び短期大学（学科）（A C対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
- ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
- ・A C対象学部等についても必ず記入してください。
- ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 5. 教員組織の状況

<こども教育学部 幼児教育学科>

### (1) 担当教員表

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	変 更 状 況					備 考
					専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	学長 教授	小島謙一 (69)	平成24年4月	大学で学ぶとは（含 建学の精神） サイエンスの考え方 サイエンスの観察技 法 サイエンスの応用						
専	教授	繁下和雄 (68)	平成24年4月	保育内容「表現」の 指導法 教材研究B（音楽） 音楽I ピアノA（入門） ピアノB（初級） ピアノC（中級） 卒業研究 卒業研究ゼミナール						
専	教授	落合優 (65)	平成24年4月	幼児指導法 保育内容「健康」の 指導法 教材研究C（運動） 子どもと運動 卒業研究 卒業研究ゼミナール						
専	教授	竹山孝二 (63)	平成24年4月	癒しと心 感性と人間性 倫理と道徳 人間発達論 虐待の精神医学 児童精神医学	兼任	講師	梅村絢美 (31)	平成27年4月	癒しと心	担当教員変更(27)
					兼任	講師	土居由美 (51)	平成27年4月	感性と人間性	担当教員変更(27)
					兼任	講師	納田容子 (33)	平成27年4月	倫理と道徳	担当教員変更(27)
					兼任	講師	土居由美 (51)	平成27年4月	人間発達論	担当教員変更(27)
専	教授	葉山登 (62)	平成24年4月	教職実践演習  保育内容「表現」の 指導法 教材研究A（造形） 図画工作 I 図画工作 II 造形基礎A 造形基礎B 造形保育論 卒業研究 卒業研究ゼミナール				平成27年9月	教職実践演習（幼）	教職課程認定審査での指摘により 科目名称を変更(24) 平成24年7月 AC教員審査済
専	教授	栗原泰子 (57)	平成24年4月	生活 幼児教育原理 保育原理I（思想と 歴史） 保育内容演習II（幼 児） 保育環境論 保育内容「言葉」の 指導法 児童文化 児童文学 絵本論 卒業研究 卒業研究ゼミナール 保育実習事前事後指 導IB（施設） 保育実習IB（施設）						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専 教授	内海崎貴子 (55)	平成24年4月		ジェンダー論 教育論 教職論 教育史 教育原理 道徳教育の理論と方法 教職実践演習 基礎ゼミナール 研究法A（文献研究） 卒業研究 卒業研究ゼミナール 子育てとジェンダー	専 教授	藏原三雪 (65)	平成24年4月	ジェンダー論 教育論 教職論 教育史 教育原理 道徳教育の理論と方法 教職実践演習（幼） 基礎ゼミナール 研究法A（文献研究） 卒業研究 卒業研究ゼミナール		平成23年11月 内海崎教授就任辞退により担当教員変更（24） 教職課程認定審査での指摘により「教職実践演習」の科目名称変更 平成24年1月 AC教員審査済
				保育実践演習		兼任 講師	高橋祥子 (55)	平成27年4月	保育実践演習	
				ボランティア論		兼任 講師	普光院亜紀 (55)	平成24年9月	ボランティア論	
				保育者論 保育原理Ⅱ（現状と課題） 教育課程と指導計画 保育課程論 幼児教育実地研究演習 幼児教育実地研究 保育内容総論 保育内容「環境」の指導法 保育内容「人間関係」の指導法 生涯学習論 キャリア教育 卒業研究 卒業研究ゼミナール 幼稚園教育実習事前 事後指導Ⅰ 幼稚園教育実習Ⅰ						
専 教授	野尻裕子 (53)	平成24年4月								
専 教授	橋本雄幸 (45)	平成24年4月		サイエンスの考え方 サイエンスの観察技法 サイエンスの応用 サイエンスのレポート技法（読み方と書き方） コンピュータ リテラシー1（ワードとエクセル） コンピュータ リテラシー2（パワーポイントとプレゼンテーション） コンピュータ リテラシー3（画像と動画） 統計と分析						
専 准教授	溝口武史 (47)	平成24年4月		健康・スポーツ論 保育実践演習 基礎ゼミナール 子どもとメディア 体育Ⅰ 体育Ⅱ 野外活動 卒業研究 卒業研究ゼミナール						
専 准教授	小野智明 (46)	平成24年4月		相談援助 社会的養護 社会的養護内容 児童家庭福祉 子育て支援論C（施設） 卒業研究 卒業研究ゼミナール 保育実習事前事後指導ⅠB（施設） 保育実習事前事後指導Ⅲ（施設） 保育実習ⅠB（施設） 保育実習Ⅲ（施設）						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	武井博美(46)	平成24年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ						
専	准教授	牧野有可里(44)	平成24年4月	教育臨床心理学 幼児理解の理論と方法  生涯発達心理学  子どもの発達と臨床Ⅰ 子どもの発達と臨床Ⅱ 子どもの心理療法 家族病理研究  カウンセリング論  家庭支援論 保育相談支援 卒業研究 卒業研究ゼミナール				平成24年9月		
専	准教授	細井(高橋)香(39)	平成24年4月	乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ 保育内容演習Ⅰ (3歳未満児)  子どもの保健Ⅰ 子どもの保健Ⅱ  病児・病後児保育論  病児・病後児保育実地研究  母子保健概論 母子保健演習 卒業研究 卒業研究ゼミナール  保育実習事前事後指導ⅠA(保育所)  保育実習ⅠA(保育所)	専 兼任	講師 講師	丹羽(高橋)さがの(38) 水野進(59) 物部博文(40)	平成24年9月 平成25年9月 平成25年9月	免達心理学 教育相談	教職課程認定審査の指摘により科目名称を変更、担当教員を追加(24) 平成24年7月 AC教員審査済
専	准教授	細井香(41)	平成26年9月 平成26年9月 平成26年9月	乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ 保育内容演習Ⅰ (3歳未満児)	平成26年3月 細井香准教授専任辞任(26) 兼任講師として就任					
専	教授	駒井美智子(58)	平成27年10月 平成27年4月 平成27年10月	乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ 保育内容演習Ⅰ (3歳未満児)	平成26年12月変更書提出済(27) 判定 可					
兼任	講師	細井香(42)	平成26年9月	子どもの保健Ⅰ 子どもの保健Ⅱ	平成26年3月 細井香准教授辞任(26) 兼任講師細井香で対応し、後任補充(27)					
兼任	講師	木村美佳(○)	平成27年9月	子どもの保健Ⅰ 子どもの保健Ⅱ	平成26年6月変更書提出済 鈴木香代子(講師) 判定 不可(27) 兼任講師対応(27)					
専	講師	鈴木香代子(37)	平成26年9月	病児・病後児保育論 病児・病後児保育実地研究	平成26年3月 細井香准教授辞任(26) 平成26年6月変更書提出済 判定 可(27)					
兼任	講師	後任未定	平成27年9月	病児・病後児保育論 病児・病後児保育実地研究	平成27年3月 鈴木香代子講師辞任(27) 兼任講師対応(27)					
兼任	講師	石田真代(58)	平成27年9月	母子保健概論	平成26年3月 細井香准教授辞任(26)					
兼任	講師	柏木恵子(64)	平成27年4月	母子保健演習	平成26年6月変更書提出済 判定 不可(27) 兼任講師対応					
専	講師	鈴木香代子(37)	平成26年9月	卒業研究 卒業研究ゼミナール	平成26年3月 細井香准教授辞任(26) 平成26年6月変更書提出済 判定 可(27)					
専	教授	駒井美智子(58)	平成27年4月	卒業研究 卒業研究ゼミナール	平成27年3月 鈴木香代子講師辞任(27) 平成26年12月変更書提出済 判定 可(27)					
兼任	講師	細井香(41)	平成26年4月	保育実習事前事後指導ⅠA(保育所)	平成26年3月 細井香准教授辞任(26)					
兼任	講師			保育実習事前事後指導ⅠA(保育所)	平成26年6月変更書提出済 判定 不可(27) 兼任講師対応					
専	教授	駒井美智子(58)	平成27年4月	保育実習事前事後指導ⅠA(保育所)	平成26年12月変更書提出済 判定 可(27)					
専	講師	鈴木香代子(37)	平成26年9月	保育実習ⅠA(保育所)	平成26年3月 細井香准教授辞任(26) 平成26年6月変更書提出済 判定 可(27)					
専	教授	駒井美智子(58)	平成27年4月	保育実習ⅠA(保育所)	平成27年3月 鈴木香代子講師辞任(27) 平成26年12月変更書提出済 判定 可(27)					

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	講師	三浦達也(47)	平成24年4月	コンピュータリテラシー1(ワードとエクセル) コンピュータリテラシー2(パワーポイントとプレゼンテーション) コンピュータリテラシー3(画像と動画) 情報リテラシー 経営情報論(ITと社会・経営)						
専	講師	鈴木明子(44)	平成24年4月	音楽I 音楽II 音楽基礎C(器楽) ピアノA(入門) ピアノB(初級) ピアノC(中級) ピアノD(応用) 卒業研究 卒業研究セミナー						
専	講師	丹羽(高橋)さがの(38)	平成24年4月	保育実践演習 保育と心理学 道徳性の発達 子育て支援論A(幼稚園) 基礎ゼミナール 研究法B(フィールド研究) 卒業研究 卒業研究セミナー 幼稚園教育実習事前 事後指導I 幼稚園教育実習事前 事後指導II 幼稚園教育実習I 幼稚園教育実習II 保育実習事前事後指 導II(保育所) 保育実習II(保育所)						
専	講師	若生啓(32)	平成24年4月	サイエンスの考え方 サイエンスの観察技法 サイエンスの応用 サイエンスのレポート技法(読み方と書き方) コンピュータリテラシー1(ワードとエクセル) コンピュータリテラシー2(パワーポイントとプレゼンテーション) コンピュータリテラシー3(画像と動画)						
専	助教	Christopher Pulte(58)	平成24年4月	英語I 英語II						
専	助教	江島絵理子(37)	平成24年4月	保育実践演習 幼児教育実地研究演習 幼児教育実地研究 基礎ゼミナール 保育環境論						
				保育方法論			平成25年9月	教育の方法と技術	教職課程認定審査での指摘により 科目名称を変更(24) 平成24年7月 AC教員審査済	
				生涯学習論 遊びの文化研究 幼稚園教育実習事前 事後指導II 幼稚園教育実習II 保育実習事前事後指 導IA(保育所) 保育実習事前事後指 導II(保育所) 保育実習IA(保育所) 保育実習II(保育所)						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任 教授	森田孝子 (70)	平成24年4月	大学で学ぶとは（含 建学の精神） 医療リテラシー 倫理と道徳 人間発達論							
				中川ひろみ (47)	兼任 講師	中川ひろみ (47)	平成25年4月	医療リテラシー	担当教員の追加	
				樺山定美 (39)	兼任 講師	樺山定美 (39)	平成27年4月	医療リテラシー	兼任講師中川ひろみ27年度就任辞退 担当教員の変更(27)	
兼任 教授	佐藤敏子 (62)	平成24年4月	人間発達論							
兼任 教授	久保恭子 (45)	平成24年4月	人間発達論 子どもの障がい論 小児救急処置法		兼任 講師	石田真代 (58)	平成27年4月	人間発達論	兼任講師久保恭子27年度就任辞退 担当教員の変更(27)	
					兼任 講師	山下麻実 (39)	平成27年4月	子どもの障がい論	兼任講師久保恭子27年度就任辞退 担当教員の変更(27)	
						後任未定			兼任講師久保恭子27年度就任辞退 担当教員の変更(27)	
兼任 准教授	柴田文子 (56)	平成25年4月	人間発達論		兼任 講師	及川裕子 (52)	平成27年4月	人間発達論	兼任講師柴田文子27年度就任辞退 担当教員の変更(27)	
兼任 准教授	石井美恵子 (50)	平成25年4月	小児救急処置法		兼任 講師	橋本真由美 (47)	平成25年4月	小児救急処置法	平成24年6月 石井兼任講師就任辞退(25) 兼任講師1名が担当するため支障は ない。	
兼任 講師	松本幸枝 (50)	平成24年4月	小児救急処置法		兼任 教授	久保恭子 (46)	平成24年4月	小児救急処置法	平成24年2月 松本兼任講師就任辞退(24) 兼任講師2名が担当するため支障は ない。(24)	
					兼任 講師	橋本真由美 (47)	平成25年4月	小児救急処置法		
兼任 講師	近藤充夫 (81)	平成24年4月	健康教育学 健康教育学演習		兼任 講師	鈴木香代子 (37) 永吉美智枝 (39) 岩崎香織 (35)	平成26年9月 平成25年4月 平成24年9月	健康教育学	平成24年3月 近藤兼任講師就任辞退(24) 教員変更(24) 平成25年3月 岩崎兼任講師就任辞退 教員変更(25)	
						時本次久美子 (64)		健康教育学	平成26年3月 永吉兼任講師就任辞退 平成26年6月変更書提出済(26) [判定 不可 兼任講師対応する (27)]	
								健康教育学演習	兼任講師対応(27)	
					兼任 講師	鈴木香代子 (37)	平成26年9月	食育保育論	兼任講師採用予定で依頼中。(24) 平成26年6月変更書提出済(26) [判定 不可 兼任講師対応する (27)]	
			食育保育論		兼任 講師	本田百合 (70)	平成26年9月	食育保育論	兼任講師対応(27)	
					兼任 講師	太田百合子 (54)	平成27年4月	食育保育論	兼任講師対応(27)	
兼任 講師	高橋保子 (79)	平成26年4月	特別支援保育概論 特別支援保育の方法		兼任 講師	渥美義賢 (66)	平成26年10月	特別支援保育概論 特別支援保育の方法	平成26年3月 高橋兼任講師辞退(26)	
兼任 講師	中島洋光 (73)	平成24年4月	芸術論							
兼任 講師	望月重信 (70)	平成25年4月	教育社会学							
兼任 講師	赤沢陽子 (69)	平成24年4月	ジェンダー論		兼任 講師	内海崎貴子 (57)	平成26年10月	ジェンダー論	平成26年3月 赤沢講師就任辞退 教員変更(26)	
兼任 講師	藤岡香子 (65)	平成24年4月	文章論							
兼任 講師	鈴木直美 (61)	平成24年4月	ピアノA (入門) ピアノB (初級) ピアノC (中級) ピアノD (応用)			後任未定			平成25年3月 鈴木直美兼任講師辞退(25) 担当教員2名がいるため、支障はな い。	
					兼任 講師	高橋恭子 (60)	平成26年4月	子どもの食と栄養	平成26年3月 柴田兼任講師辞任 教員変更(26)	
兼任 講師	川島由起子 (60)	平成24年4月	子どもの食と栄養				平成24年4月		平成25年3月 教育課程を充実させるため教員を 追加(25)	
					兼任 講師	柴田みち (46)	平成25年4月	子どもの食と栄養	平成26年3月 柴田兼任講師辞任 教員変更(26)	
			音楽基礎A (理論ソル フェージュ) ピアノA (入門) ピアノB (初級) ピアノC (中級) ピアノD (応用)		兼任 講師	高橋恭子 (60)	平成26年4月	子どもの食と栄養		
					兼任 講師	小平京子 (42)	平成25年4月	音楽基礎A (理論ソル フェージュ)	平成25年3月 三森兼任講師就任辞退 教員変更(25)	
兼任 講師	三森柱子 (56)	平成24年4月	ピアノA (入門) ピアノB (初級)		専 講師	鈴木明子 (45)	平成24年4月	ピアノA (入門) ピアノB (初級)	平成25年3月 三森兼任講師就任辞退(25) 教員変更	
					兼任 講師	小平京子 (43) 鈴木明子 (45)	平成26年4月	ピアノC (中級)	寄査洛の専任講師が持ちコマ数を増 やして対応する。 平成26年3月 鈴木専任講師辞退(26) 教員変更	
			ピアノC (中級) ピアノD (応用)		兼任 講師	小平京子 (43)	平成27年4月	ピアノD (応用)	開講年次(4年次)までに教員補充 予定(25) 教員変更(26)	
					兼任 講師					

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	吉光院亜紀(57)	平成26年4月	子育て支援論B(保育所) 統合保育論 音楽基礎B(歌唱・伴奏) 音楽基礎D(表現活動) ピアノA(入門) ピアノB(初級) ピアノC(中級) ピアノD(応用)						
兼任	講師	高橋祥子(54)	平成24年4月				後任未定			平成25年3月 鈴木直美兼任講師辞退(25) 担当教員が2名いるため、支障はない。
兼任	講師	大間奈裕(50)	平成24年4月	環境リテラシー	兼任	講師	高橋祥子(57)	平成27年10月	保育実践演習	教育内容の充実を図る(27)
兼任	講師	春日清孝(50)	平成24年4月	家族社会論 家族関係論						
兼任	講師	道上達男(44)	平成24年4月	サイエンスの考え方						
兼任	講師	高橋秀治(41)	平成24年4月	サイエンスの考え方 サイエンスの観察技法 サイエンスの応用	兼任	講師	二宮裕将(36)	平成25年4月	サイエンスの考え方 サイエンスの観察技法 サイエンスの応用	平成25年3月 高橋兼任講師就任辞退(25) 教員変更
兼任	講師	柳澤泰(44)	平成24年4月	生活と法律(含日本国憲法)	兼任	講師	青木元秀(36)			
兼任	講師	別役重之(37)	平成24年4月	サイエンスの観察技法 サイエンスの応用	兼任	講師	関根康介(36)			
兼任	講師	関根康介(35)	平成24年4月	サイエンスの考え方 サイエンスの観察技法 サイエンスの応用						
兼任	講師	仙田考(43)	平成26年4月	子どもと自然	兼任	講師	二宮裕将(36)	平成25年4月	サイエンスの観察技法	平成25年3月 別役兼任講師就任辞退(25) 教員変更
兼任	講師	田口(木杉)亜紗(35)	平成24年4月	コミュニケーション論 日本文化論 異文化論	兼任	講師	原木悦和(35)	平成25年4月	サイエンスの応用	
兼任	講師	横田祥子(35)	平成24年4月	中国語I 中国語II	兼任	講師	橋本恭子(56)	平成25年4月	中国語I	平成25年3月 横田兼任講師就任辞退(25) 教員変更
兼任	講師	覚前唯希子(34)	平成24年4月	ピアノA(入門) ピアノB(初級) ピアノC(中級) ピアノD(応用)			後任未定			平成25年3月 覚前兼任講師辞退(25) 担当教員が2名いるため、支障はない。
兼任	講師	安部久貴(32)	平成24年4月	健康・スポーツ(演習)	兼任	講師	伊東史織(25)	平成27年4月	健康・スポーツ(演習)	兼任講師安部久貴27年度就任辞退 担当教員の変更(27)
兼任	講師	石川衣紀(29)	平成25年4月	障がい児保育I 障がい児保育II	兼任	講師	西原彰宏(60)	平成25年9月	障がい児保育I 石川兼任講師就任辞退(26) 教員変更	平成25年9月 石川兼任講師就任辞退(26) 教員変更
兼任	講師	平田廣志(60)	平成27年4月	国語				平成24年4月		配当年次変更により就任時期変更(24)
兼任	講師	崔誠姫(34)	平成24年4月	韓国語	兼任	講師	趙真慧(32)	平成26年4月	韓国語	平成26年4月 担当教員の変更(26)
兼任	講師	吉田仁美(34)	平成24年4月	社会福祉	兼任	講師	齊藤貞夫(66)	平成26年4月	社会福祉	平成26年4月 担当教員の変更(26)

(注) ・認可申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合には、  
(○○学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。

- ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。

- ・年齢は、「認可時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。

- ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

- ・**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業などを担当することは出来ません。

- ・「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は、「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は、「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
9 ( 9 )	5 ( 5 )	4 ( 4 )	2 ( 2 )	20 ( 20 )	10 [ 1 ]	4 [ △1 ]	4 [ 0 ]	2 [ 0 ]	20 [ 0 ]	65 歳	4 名	65 歳	6 名

- (注) ・「認可時の計画」には、設置認可時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時「変更状況」には、平成26年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[ ] 内に△との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成26年5月1日現在、特定等により定年を超採用されている教員数を記入してください。
- ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定に定める定年年齢」に二段し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	内海崎貴子	病気により、就任辞退となった。
2	准教授	細井香	家庭の事情により、辞任となった。 <b>当初の事情と異なり、新設校の専任教員になったことが判明。(27)</b>

- (注) ・専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- 内海崎貴子の辞退は、大学開設前であり、さらに担当授業科目について専任教員による変更ができた。事前ガイダンスで学生への周知は、十分できたので支障ないと考える。
- 細井香の辞任は、担当授業科目開始前であり、その科目担当教員の変更は、「乳児保育Ⅰ」「乳児保育Ⅱ」「保育内容演習（3歳未満児）」を除いて後任補充の申請審査予定である。担当教員の未定の科目については、辞任する細井香が引き続き兼任講師として担当するので、問題ないと思し、学生にはシラバス記載と事前ガイダンスで変更周知を行う。(26)
- 細井香の辞任に伴う後任補充の申請審査で「乳児保育Ⅰ」「乳児保育Ⅱ」「保育内容演習（3歳未満児）」については、専任補充を行った。(27)

## 6 留意事項等に対する履行状況等

### こども教育学部幼児教育学科

区分	留意事項等	履行状況	未履行事項についての実施計画
認可時 (平成23年10月)	・設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年生大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	留意事項	24年度は、「自己点検・評価・FD委員会」を設置し年間9回開催した。その内容は、本学設置の趣旨・目的を踏まえた授業評価アンケート、FD研修会であった。(25)
	・必修科目である「特別支援保育概論」(3年次後期)の基礎と位置づけている「統合保育論」(1年次後期)は、選択科目であることから、配当年次や必修・選択科目の考え方を含め適切な教育課程とすることが望ましい。	その他意見	「統合保育論」については、その重要性を履修指導の際に説明及び指導した。その結果、ほとんどの学生(89%)が履修し、単位取得した。(25)
	・「国語」について、教育の基礎的な科目として専門科目群「教育・保育の研究」に位置付けているが、内容が依然として小学校教員養成の国語課教育法が主眼となっていることから、幼稚園教諭、保育士を養成するための言葉(=第一言語としての「国語」)に関する内容を充実させることが望ましい。	その他意見	シラバス上では、幼児期の言語発達やコミュニケーション発達、またそれに対する保育者の援助に対する学習を反映させている。(25)

設置計画履行状況 調査時 (平成25年5月)	<p>・こども教育学部幼児教育学科の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	留意事項	<p>平成25年度の学生募集については、0.7倍未満となった前年度の状況を踏まえて、以下のとおり募集・広報活動を積極的に展開し、定員の80%相当の入学者を確保した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①オープンキャンパスの回数増</li> <li>②高校訪問活動の強化</li> <li>③入試広報活動の強化（大学案内・HPのリニューアル、進学情報サイト等への参加など）</li> <li>④本学独自の奨学金制度の創設（こども教育学部生対象）</li> </ul> <p>しかしながら、依然として定員を充足するに至っていないことから、平成26年度の学生募集活動については、以下の対策（改善計画）を着実に実施し、定員の100%確保を目指す方針である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①オープンキャンパスの早期実施（3月下旬：新3年生、新2年生対象）</li> <li>②本学独自のAO入試の充実</li> <li>③指定校の拡充強化</li> <li>④高校訪問活動の強化（周辺他県への訪問拡大：静岡県、山梨県、長野県）</li> <li>⑤学校法人全体での取組み強化（系列校からの志願者増加）</li> </ul> <p>なお、本学こども教育学部の入学定員の見直しについては、待機児童問題が喫緊の政策的課題となっている現況に鑑み保育者養成への社会的ニーズが極めて高いことから、引き続き現定員を維持することが必要であると考えている。（25）</p>
------------------------------	--	------	---

設置計画履行状況 調査時 (平成26年5月)	<p>・こども教育学部幼児教育学科の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	留意事項	<p>平成26年度の学生募集については、以下のとおり募集・広報活動を積極的に展開し、定員の125%相当の入学者となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 受験生への認知度向上 ◎高校新3年生及び新2年生向けにオープンキャンパスを3月下旬から実施したほか、5月以降のオープンキャンパスにおいて高校生が関心を示す企画を用意し、多くの参加者を得て志願者の増加に結び付けた。</li> <li>② 本学部独自のAO入学試験の充実 ◎「チャレンジスクール型AO入試」及び「事前面接型AO入試」の実施の経験を踏まえて改善を行い、受験生に分かり易い仕組みに修正を行った。</li> <li>③ 保育系短大・専門学校との違いの周知 ◎建学の理念「考えて行動のできる人」を踏まえて、教養教育科目を充実させている点の周知を図った。</li> <li>④ 高校進路担当教員への認知度向上 イ、本学教員による高校訪問活動を充実強化。 ロ、資格取得に関する内容や特色のある授業の紹介などの冊子を「大学案内」とは別に配布した。 ハ、高校への出前授業などを積極的に実施。</li> <li>⑤ 指定校の拡充強化 イ、過去2年間の入学実績を踏まえて、指定校の一部見直し（追加）を行った。 ロ、系列校からの志願者を増やすため、学校法人全体で情報を共有し保育士志望学生の状況把握に努めた。</li> </ul>
------------------------------	--	------	--

		<p>⑥ 高校訪問先の拡充強化 ◎4年制大学の進学率の高い東京都内の高校への訪問活動を強化し、神奈川県に隣接し比較的に大学進学率の高い「静岡県」「山梨県」及び「長野県」についても訪問活動を行った。</p> <p>⑦ 大学案内及びホームページの充実 ◎大学の特色やカリキュラムの特色、さらには設備面の特色等を強調した内容に更新し、受験生・保護者・進路担当教員等に分かり易い内容とした。(26)</p> <p>定員見直しの検討について ◎26年度学生募集において、定員を上回る入学者を確保できる見通しとなったものの、3年次までの収容定員(240名)に対して、82%にとどまっている状況であることから、27年度学生募集を前年度に引き続き積極的に行う方針である。 また、待機児童問題は依然解消されておらず、保育士の育成は喫緊の政策的な課題となっており、かかる面から本学定員を維持することは肝要であると考えている。(26)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども教育学部幼児教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</li> </ul>	留意事項  本学の設立時においては、専門職（幼稚園教諭及び保育士）を育成する観点から、教育実務経験を十分に積んだ教員を優先的に配置したことにより、50歳代以上の教員の構成が比較的高くなつたものである。今後は、留意事項の指摘を踏まえて、新採用時や後任補充時においては年齢・世代間のバランスに配慮し、中堅・若手教員の採用を推進する必要があるものと認識しているほか、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めることいたしたい。しかしながら、完成年次（平成27年度）までは、社会に貢献できる保育者の育成を行うという本学の使命を踏まえて、経験豊富な教員が中心となっている当該学部の教育体制を維持する必要があるものと考えている。(26)

設置計画履行状況 調査時 (平成27年1月)	・こども教育学部幼児教育学科において定年規程に定める退職年齢を超えてる専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見	完成年次以降は、当該教員の定年退職時等において、当該教員の担当領域、年齢構成を考慮しつつ、中堅・若手層を広く募るようにしていきたい。(27)	
------------------------------	--	------	--	--

- (注) • 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（　）書きで付記してください。
- 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

<こども教育学部 幼児教育学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
施設・設備 2号館1階 基礎看護学実習室 (214.79m <sup>2</sup> )	学生の修学環境を改善するため、基礎看護学実習室2 (56.99m <sup>2</sup> ) を1部屋増やした。このスペース確保のため、同1階の機材室2 (△7.99m <sup>2</sup> )、ロッカールーム (△32.59m <sup>2</sup> ) 及びシャワー室 (△16.41m <sup>2</sup> ) のスペースを削減した。

(注) ①～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）

及び法令適合性に関する留意すべき事項について記入してください。

②認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制
a 委員会の設置状況
開學と同時に「自己点検・評価・FD委員会」を設置し、25年度より「FD委員会」を新たに独立して設置した。 <関係規程抜粋>
①学則・・・第4条（教育内容等の改善） 「本学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織を設け、研修及び研究を実施するものとする」
②FD委員会規程・・・第1条（趣旨） 「この規程は、横浜創英大学学則第4条並びに横浜創英大学各種委員会規程第3条第3項の規定に基づき、授業の改善および教育研究水準の向上に関して全学的な立場で審議し、ファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）を推進するために設置する横浜創英大学FD委員会（以下「FD委員会」という。）の任務、組織その他に関し必要な事項を定めるものとする。」
b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 原則として月1回開催。
c 委員会の審議事項等
・授業内容及び教育方法の改善並びに教育力向上（FD）のための基本的方針の策定に関する事項 ・FDの実施体制等に関する事項 ・FDに係る講演会及び教職員研修会等の開催に関する事項
② 実施状況
a 実施内容（26年度は以下を実施した） ・学生による授業評価アンケートの実施 ・同上アンケート結果の分析及び授業改善課題への取組み ・FD研修会（講演会の開催） ・FDワークショップ ・FD報告書作成
b 実施方法 ・平成26年度授業評価実施要項に基づき、前期・後期の全ての授業科目を対象に「学生による授業評価アンケート」を実施し、その結果を担当教員に配布し学生へのコメントを公開する。 ・アンケート結果に基づき改善課題を抽出し、教学面の課題については両学部が、施設設備面の課題については事務局が中心となって検討する。 ・FD講演会を外部講師を招いて1回実施した。（教職員参加：54名） ・FDワークショップとして、学内教員の事例報告及びディスカッションを実施した。（教職員参加：30名） ・冊子体で前年度の事業内容を報告書としてまとめ公開した。（「平成25年度FD活動報告書」、A4版、p155）
c 開催状況（教員の参加状況含む） ・26年4月に第1回委員会を開催し、年間9回行われた。（教員5名、事務局5名の委員で構成）
d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ・学生による授業評価アンケート結果については、その都度担当教員のコメントを学内HPに公開し、学生にフィードバックする。 ・授業改善課題については、両学部教授会等において検討のうえ、学内コンセンサスを得たうえで実施している。
③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
a 実施の有無及び実施時期 ・原則として、前期（6月～7月）、後期（12月～1月）の最終授業時に実施。
b 教員や学生への公開状況、方法等 ・学内HP上で公開。

(注) ①a 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

- ・本学学則第2条（注）に則り、本学の教育水準の向上を図り、その目的及び社会的使命を達成するため、自己点検・評価委員会を設置している。  
(注) 第2条 本学は、教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。
- 2 本学は、教育研究等の総合的な状況について、政令で定める期間ごとに、文部科学大臣の認定を受けた認証評価機関による評価を受けるものとする。
- 3 前項の点検及び評価を行うに当たっての項目の設定、実施体制等については、別に定める。  
  
・自己点検・評価委員会の活動については、自己点検・評価委員会規程に則り、本学の教育研究に関する活動状況並びに組織、施設・設備、運営状況等について、自己点検・評価を実施するとともに、所要の改善を図ることとしている。  
  
・本学においては、平成25年度に開学後初となる自己点検・評価を実施し、その評価報告書を翌年度に大学ホームページに公表した。  
  
・本学では、平成29年度には、財団法人日本高等教育評価機構による第三者認証評価を受審する予定である。本委員会では、平成25年度版自己点検評価報告書の改善向上方策に記載された改善課題の進捗状況をチェックしつつ、自己点検・評価結果に基づく改善策の策定を行っていく予定である。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

- ・平成26年7月31日 公表

##### b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書については、本学の運営会議において、審議・承認を経た後、大学ホームページ上に公開。

#### ③ 認証評価を受ける計画

- ・平成29年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・ 設置認可時の計画の変更（又は未実施）の有無に關わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (  有 ·  無 )

b 公表時期（未公表の場合は予定期） (平成26年6月30日)